取扱説明書

（PCユーティリティー編）

もくじ

ご使用になる前に 2

はじめに 3

PCユーティリティー 4

インストール 5

起動 9

環境設定/取扱説明書/分析データ 10

データビューア 15

ソフトウェアアップデート 34

オンラインアップデート 34

オフラインアップデート 38

ネットワークプリント設定 42

利用するための準備 43

G-scan2から印刷する 49

設定を変更する 52

分析データ 54

ご使用になる前に 2

はじめに 3

はじめに

ご使用になる前に

本取扱説明書では、PCユーティリティーの使用方法についてご説明させていただきます。

株式会社インターサポート

PCユーティリティー 4

インストール..... 5

起動 9

環境設定/取扱説明書/分析データ 10

データビューア.....15

ソフトウェアアップデート.....34

オンラインアップデート 34

オフラインアップデート 38

ネットワークプリント設定.....42

利用するための準備 43

G-scan2から印刷する 49

設定を変更する..... 52

分析データ.....54

インストール

PCユーティリティー

1) 最初にご利用のパソコンの動作環境を確認してください。

システム要件

Windows XP、Vista、7、8

512MB RAM

1GHz以上のプロセッサ

2GBのハードディスク空き容量(推奨)

インターネット接続(ブロードバンド推奨)

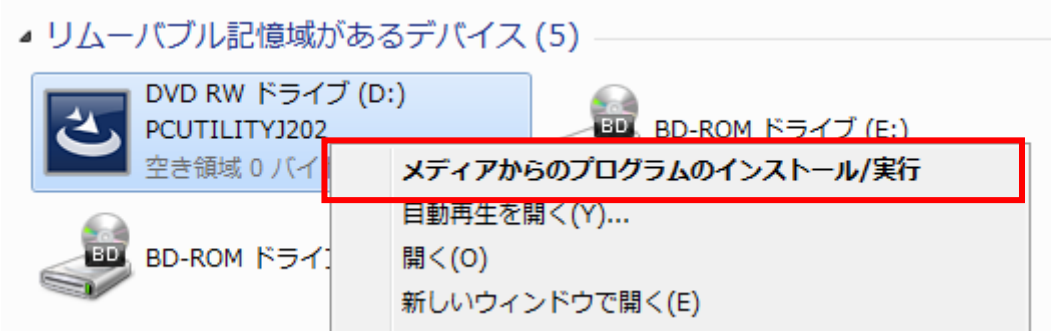
2) G-scanに付属している「取扱説明書/PCユーティリティーウェア」を、パソコンのCDドライブにセットしてください。

3) セットアップ開始画面が表示されます。よろしければ、次へ(N) > ボタンをクリックしてください。

〈図：セットアップ開始画面〉

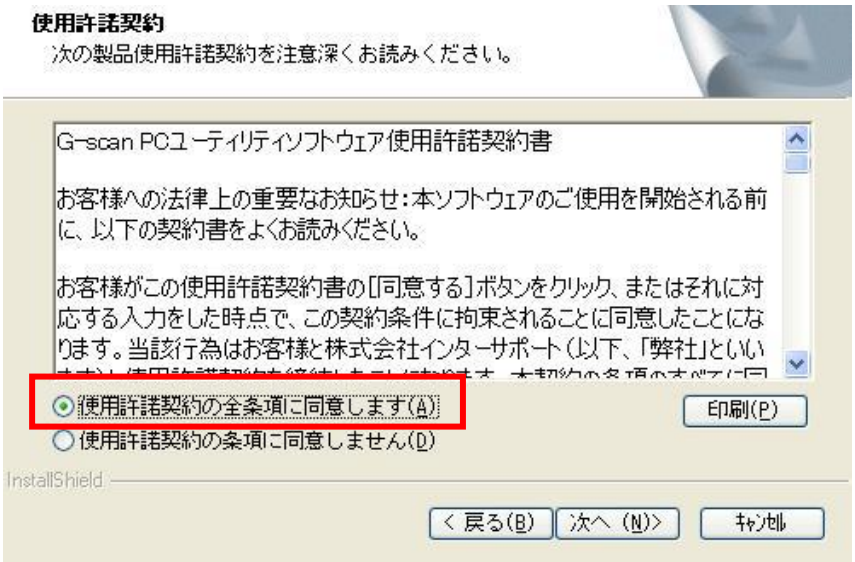
※セットアップ開始画面が表示されないとき

マイコンピューターからCDドライブを選択し、右クリックをしていただくと、「メディアからのプログラムのインストール/実行」と表示されます。そちらをクリックしていただくと、セットアップ開始画面に移行します。



<図：マイコンピューターの画面>

4) 使用許諾契約の画面が表示されますので、使用許諾契約条項をよくご確認のうえ同意されましたら、【使用許諾契約の全条項に同意します】に選択して 次へ(N) > ボタンをクリックしてください。



〈図：使用許諾契約条項の表示画面〉

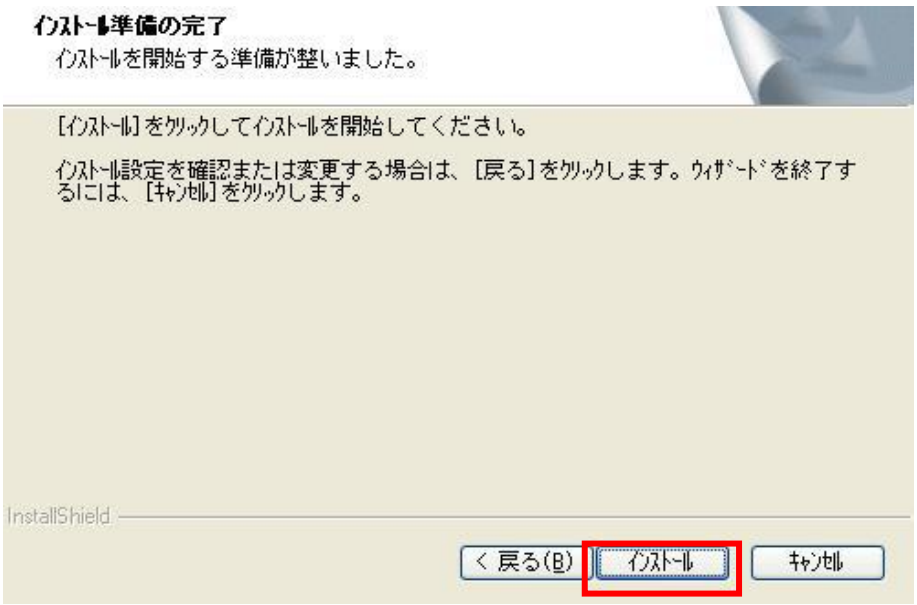
5) インストール先の選択画面が表示されます。インストール先を指定してください。インストール先の指定が完了したら、 次へ(N) > ボタンをクリックしてください。

〈図：インストール先の指定画面〉

※注意と補足※

通常インストール先の変更は必要ありません。もし変更をされる場合「C:¥Program Files」にインストールしないでください。PCユーティリティーが正常に動作しない可能性があります。

6) ｲﾝｽﾄｰﾙ ボタンをクリックしてPCユーティリティーのインストールを開始してください。



〈図：インストール準備の完了画面〉

7) インストールが完了すると以下の画面が表示されます。

完了 ボタンをクリックしてください。

〈図：インストールの終了画面〉

8) デスクトップ上に以下のアイコンが表示されていることを確認してください。

〈図：PCユーティリティーアイコン〉

※PCユーティリティーアイコンが正常に表示されないときは、一度パソコンを再起動してください。

起動

PCユーティリティー

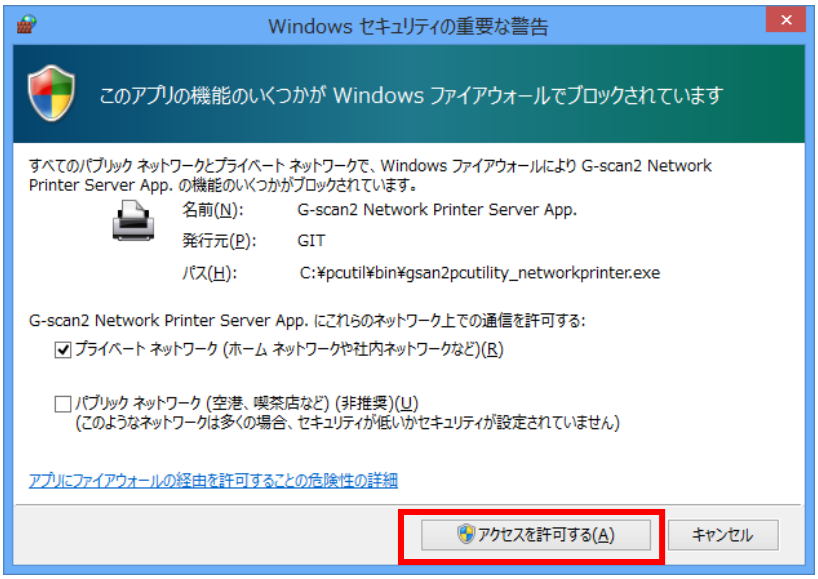
1） PCデスクトップ上のPCユーティリティーアイコンからPCユーティリティーを起動します。

2） PCユーティリティーが起動します。

〈図：PCユーティリティーメイン画面〉

※注意と補足※

以下のように表示される場合「アクセスを許可する」をクリックしてください。



〈図：Windowsセキュリティーの重要な警告画面〉

G-SCAN 環境設定/取扱説明書/分析データ

PCユーティリティー

PCユーティリティーメイン画面から『環境設定』と『分析データ』と『取扱説明書』との閲覧ができます。

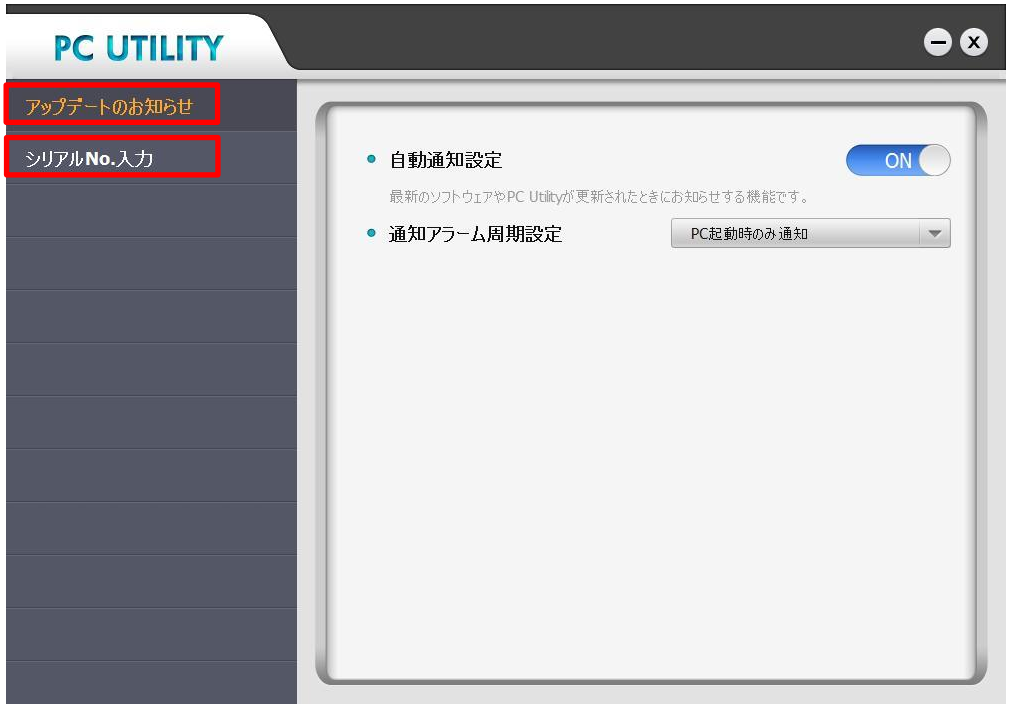
〈図：PCユーティリティーメイン画面〉

1） PCユーティリティーメイン画面で取扱説明書をクリックすると取扱説明書を閲覧することができます。

2） 分析データでは、分析モードを実施したデータを容易にインターサポートに送信させることができます。

3） 環境設定ではPCユーティリティーの環境設定を行ないます。
アップデートのお知らせの設定、ユーザー情報設定を行なうことができます。

4） PCユーティリティーメイン画面で『環境設定』をクリックしてください。以下の画面が表示されます。



〈図：環境設定画面〉

アップデートのお知らせ ： 最新のG-scanソフトウェア、PCユーティリティーがリリースされた時、PCへの通知、非通知を設定します。

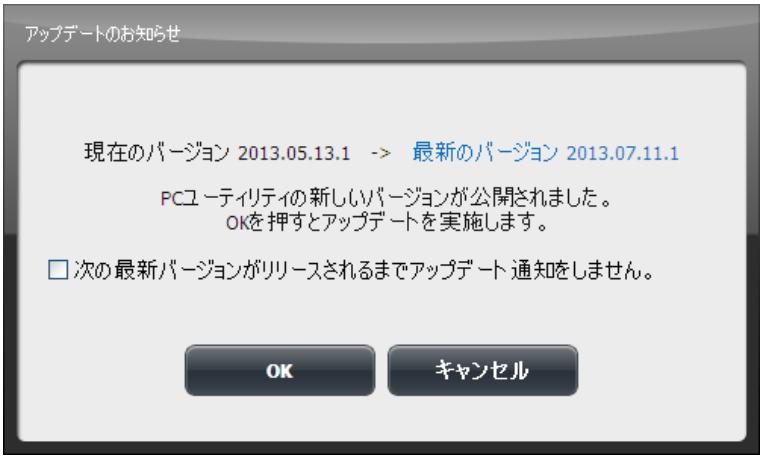
シリアルNo.入力 ： ユーザー情報を設定します。
ID、シリアルNo.を設定することで、G-scanソフトウェアのアップデート期限を表示することができます。

■ アップデートのお知らせ

1) 自動通知設定を設定します。

『ON』を選択すると最新のG-scanソフトウェア、PCユーティリティーがリリースされた時、パソコンの画面にアップデート通知が表示されます。

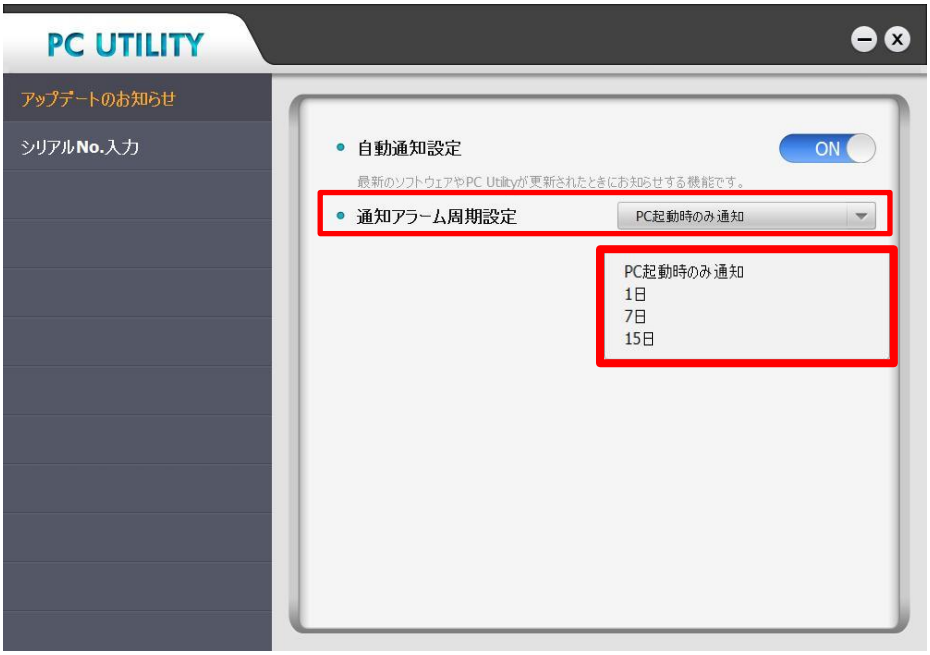
『OFF』を選択すると最新のG-scanソフトウェア、PCユーティリティーがリリースされても、通知されません。



〈図：アップデート通知画面〉

〈図：自動通知設定の選択画面〉

2) 『ON』を選択した場合のみ、通知アラーム周期設定を行ないます。
通知する周期を選択してください。



〈図：アラーム周期設定の選択〉

PC起動時のみ通知： PC起動時の1回のみ通知します。

1日周期： 1日周期で通知します。

7日周期： 7日周期で通知します。

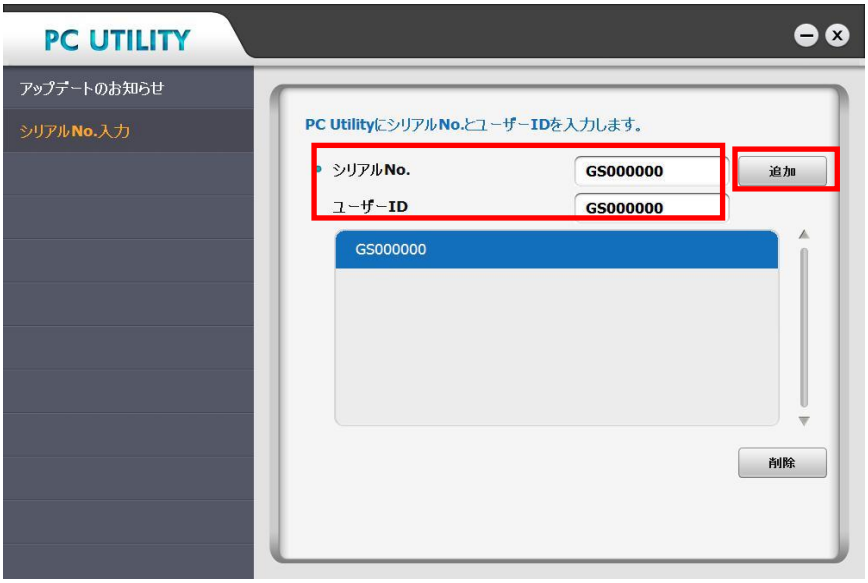
15日周期： 15日周期で通知します。

3) 閉じるボタンをクリックすると、ポップアップが表示されるので『OK』ボタンをクリックし設定を有効にしてください。

〈図：環境設定のポップアップ表示画面〉

■ シリアルNo.入力

1) シリアルNo、ユーザーIDを入力してください。入力するユーザーIDは購入後にユーザー登録していただいたユーザーID、シリアルNo.を入力し 追加 をクリックしてリストに追加してください。



〈図：ユーザー情報の入力画面〉

2) ユーザー情報設定後、PCユーティリティーメイン画面にシリアルNo、サポート会員期限、アップデート期限（国産乗用車、国産トラック・バス、輸入乗用車）が表示されます。

〈図：ユーザー情報表示画面〉

データビューア

PCユーティリティー

1） データビューアでは、SDカード内の保存した記録データの管理・閲覧・印刷を行います。以下の手順でSDカードをPCに接続してください。

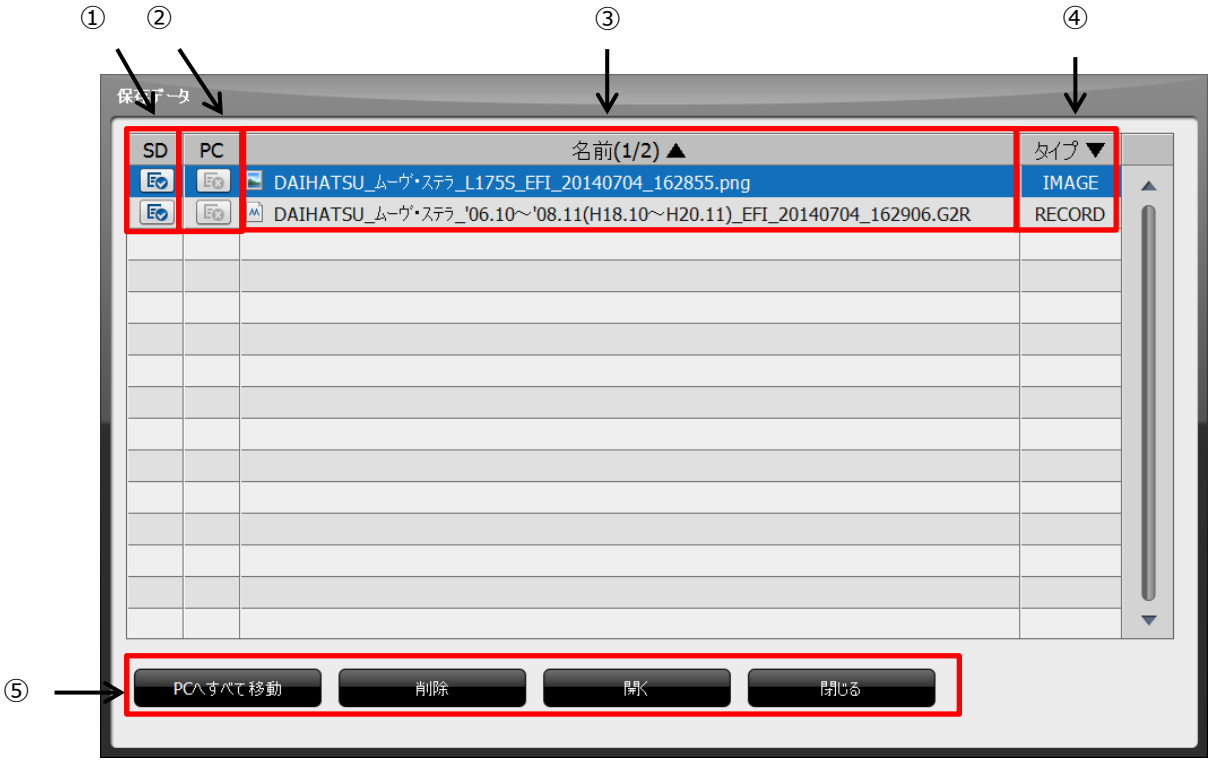
G-scan本体の電源がOFFの状態で、SDカードを取り出します。

SDカードをSDカードリーダに挿し込み、パソコンに接続します。

2） PCがSDカードを正常に認識したら、PCユーティリティーメイン画面において『データビューア』をクリックしてください。

〈図：データビューアの選択〉

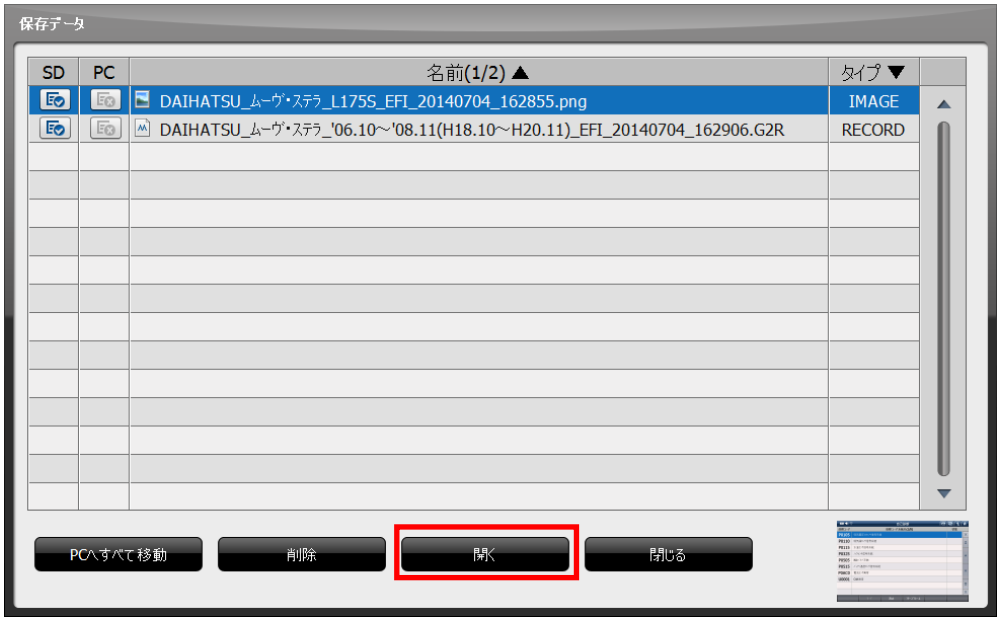
3）以下の画面が表示されます。



〈図：データビューア画面〉

①	SD	PCにデータを移していない場合、チェックマークが付きます。
②	PC	PCにデータを移している場合、チェックマークが付きます。
③	名前	PC、SDカードに保存されているフォルダ、ファイルを表示しています。
④	タイプ	画像データは IMAGE 、記録データは RECORD と表示されます。
⑤	PCへすべて移動	SDカードのデータをすべてPCに移動します。
	削除	選択しているデータを削除します。
	開く	選択したデータを開きます。
	閉じる	データビューア画面を閉じます。

4) PC、または SD カードから表示するファイルを選択して、『開く』ボタンをクリックしてください。



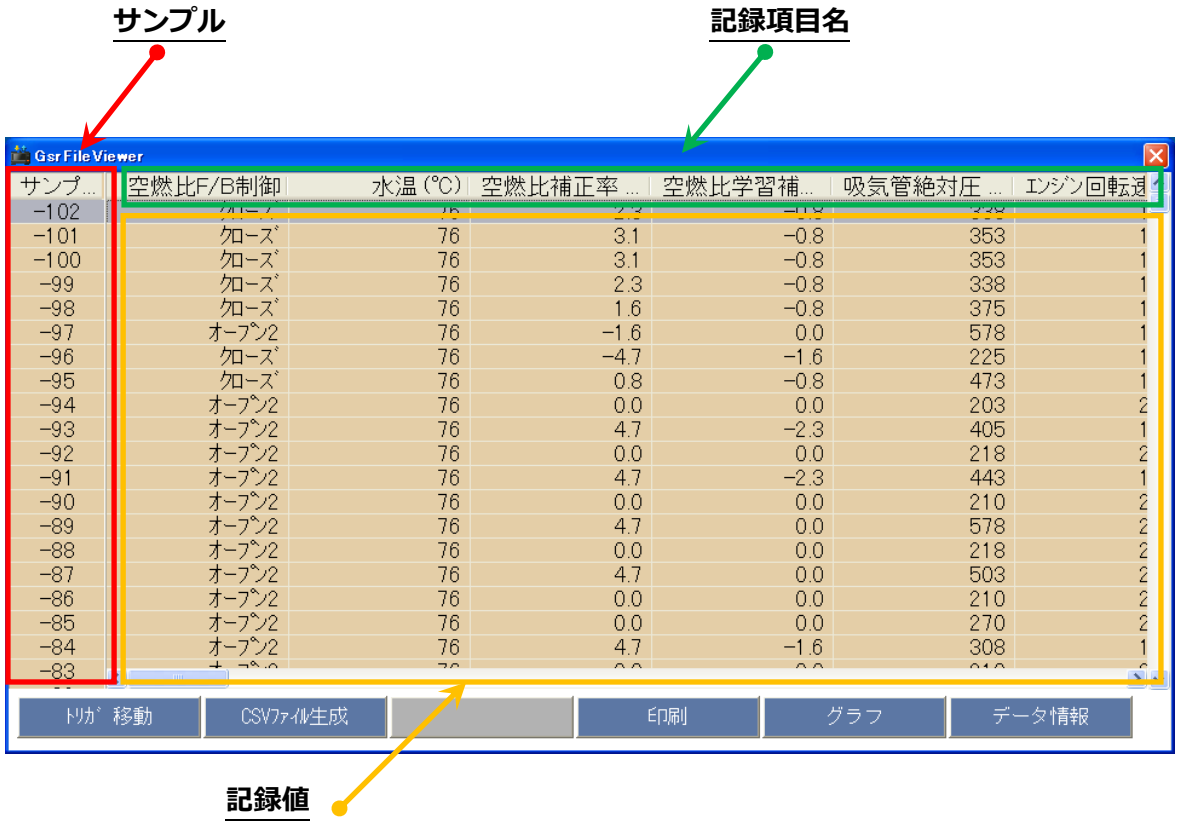
〈図：ファイルの選択〉

画像データの場合

〈図：画像データの表示〉

開く	SDカードまたはパソコンに保存されている画像ファイルを表示します。
印刷	表示されている画像を印刷します。
終了	画像データの表示画面を閉じます。

記録データの場合



〈図：記録データの表示〉

サンプル ： 記録数が表示されます。

記録項目名 ： 項目名が表示されます。
項目名の部分をダブルクリックすると、横にスクロールした際にその項目が固定

記録値 ： 値が表示されます。

トリガ 移動 ： 0サンプル位置に移動します。【詳細はP20を参照】

CSVファイル生成 ： 記録データをCSV形式のファイルで出力します。【詳細はP21を参照】

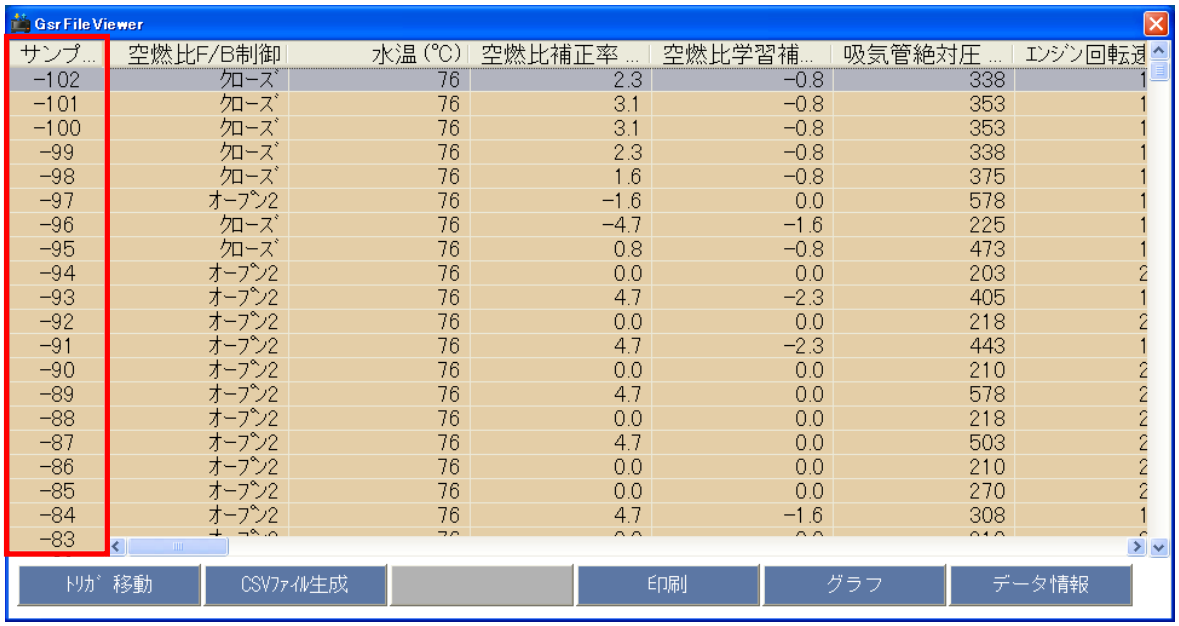
印刷 ： 記録データを印刷します。【詳細はP24を参照】

グラフ ： グラフで表示します。【詳細はP28を参照】

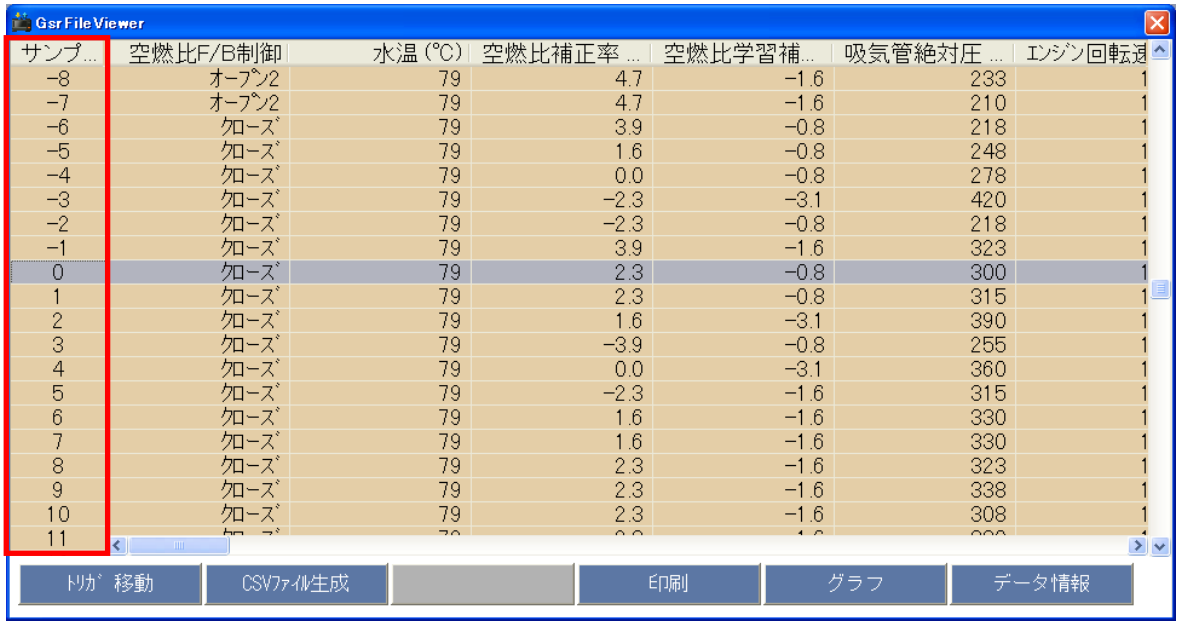
データ情報 ： 記録データの情報を表示します。【詳細はP32を参照】

■ トリガ 移動 ボタン詳細

① トリガ 移動 ボタンをクリックすると0サンプル位置に移動します。



〈図：トリガ移動ボタンをクリック〉



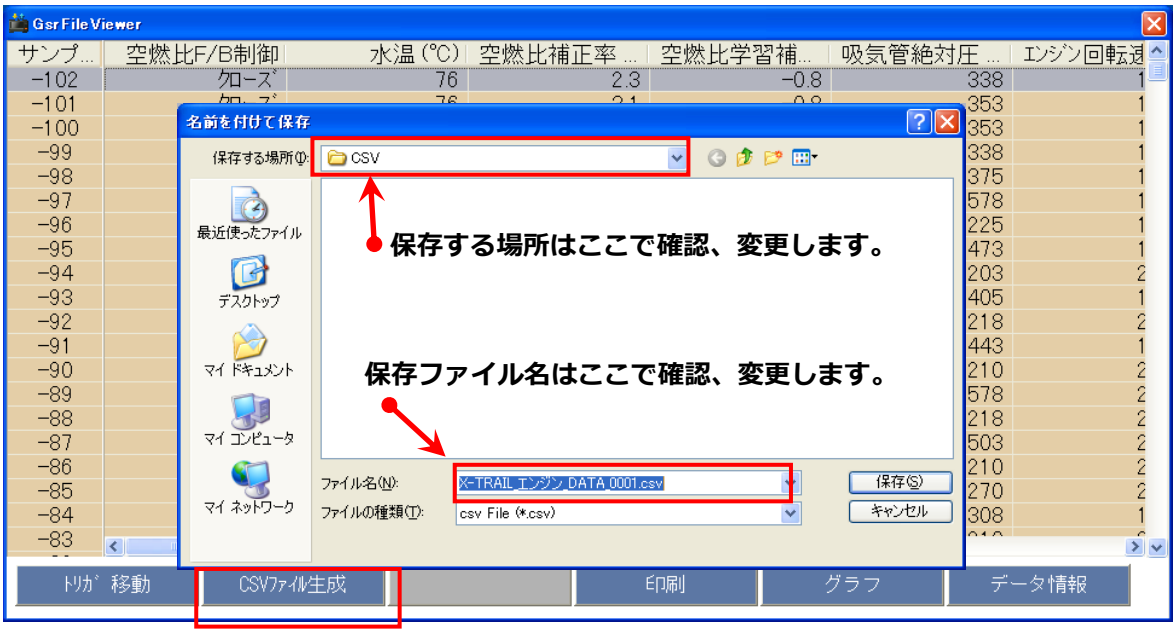
〈図：0サンプル位置に移動〉

■ CSVファイル生成 ボタン詳細

➢ **『CSVファイル生成』機能について**

『CSVファイル生成』機能とは、現在選択している記録データをCSV形式で
ファイルに出力・保存する機能です。
出力・保存したデータは、Microsoft® Excel などのツールを使用し、自由に
加工することが出来ます。

① CSVファイル生成 ボタンをクリックすると、保存ファイル名の確認画面が表示されます。保存ファイル名と保存する場所を確認、または変更して、『保存』ボタンをクリックしてCSVファイルを保存してください。



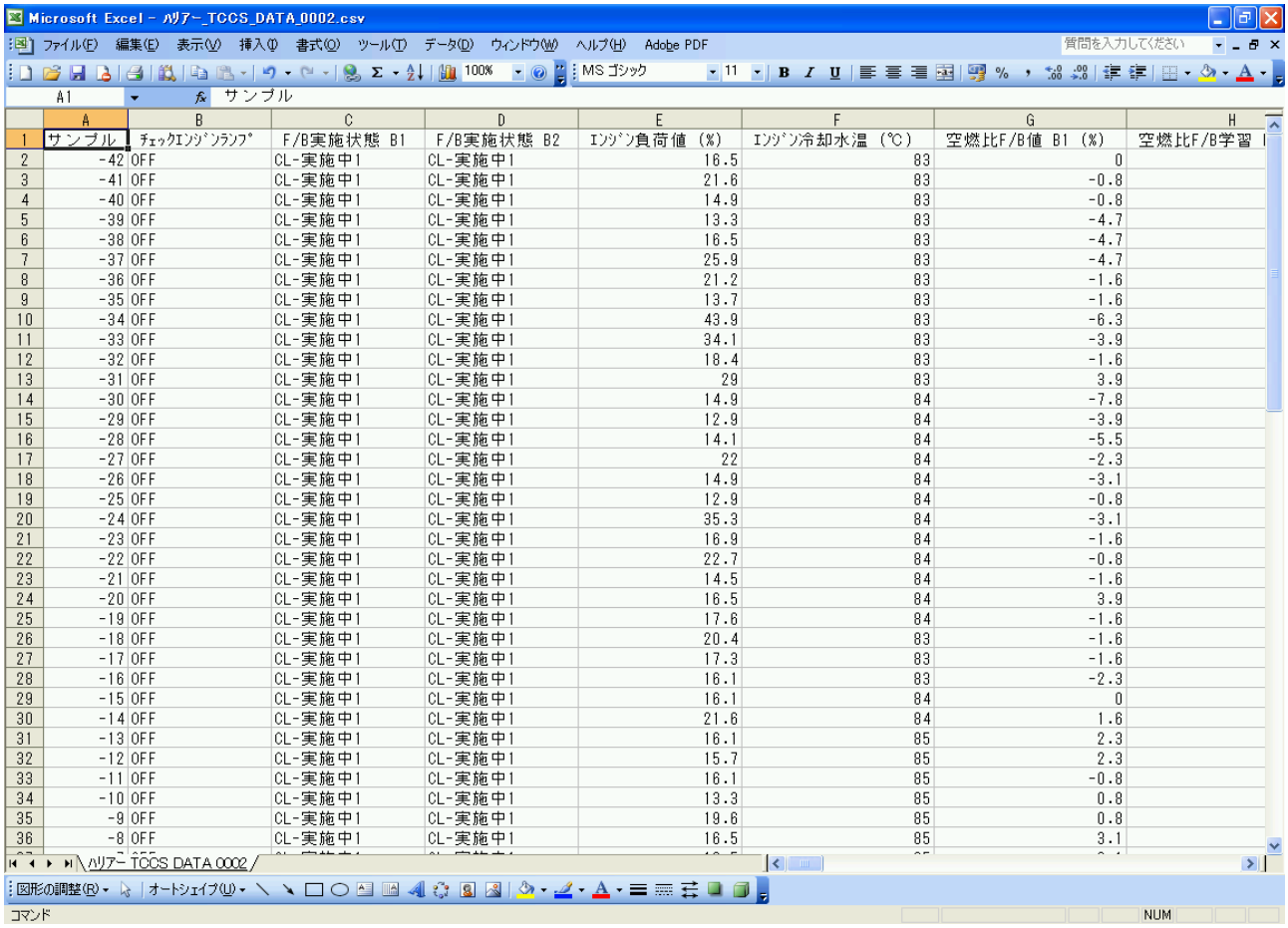
〈図：CSVファイルの生成〉

※注意と補足※

CSV とはComma Separated Values（カンマセパレートバリュー）の略称です。
データをカンマ（,）で区切って並べたファイル形式をCSV（シーエスブイ）形式と呼びます。

➢ CSVファイルの表示

① 『データビューア』で出力・保存したデータをMicrosoft® Excelで開くと以下のような画面が表示されます。
目的に応じて自由に加工してください。



	A	B	C	D	E	F	G	H
1	サンプル	ﾁｪｯｸｴﾝｼﾞﾝﾗﾝﾌﾟ	F/B実施状態 B1	F/B実施状態 B2	ｴﾝｼﾞﾝ負荷値 (%)	ｴﾝｼﾞﾝ冷却水温 (℃)	空燃比F/B値 B1 (%)	空燃比F/B学習
2	-42	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	16.5	83	0	
3	-41	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	21.6	83	-0.8	
4	-40	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	14.9	83	-0.8	
5	-39	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	13.3	83	-4.7	
6	-38	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	16.5	83	-4.7	
7	-37	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	25.9	83	-4.7	
8	-36	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	21.2	83	-1.6	
9	-35	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	13.7	83	-1.6	
10	-34	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	43.9	83	-6.3	
11	-33	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	34.1	83	-3.9	
12	-32	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	18.4	83	-1.6	
13	-31	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	29	83	3.9	
14	-30	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	14.9	84	-7.8	
15	-29	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	12.9	84	-3.9	
16	-28	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	14.1	84	-5.5	
17	-27	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	22	84	-2.3	
18	-26	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	14.9	84	-3.1	
19	-25	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	12.9	84	-0.8	
20	-24	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	35.3	84	-3.1	
21	-23	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	16.9	84	-1.6	
22	-22	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	22.7	84	-0.8	
23	-21	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	14.5	84	-1.6	
24	-20	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	16.5	84	3.9	
25	-19	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	17.6	84	-1.6	
26	-18	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	20.4	83	-1.6	
27	-17	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	17.3	83	-1.6	
28	-16	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	16.1	83	-2.3	
29	-15	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	16.1	84	0	
30	-14	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	21.6	84	1.6	
31	-13	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	16.1	85	2.3	
32	-12	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	15.7	85	2.3	
33	-11	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	16.1	85	-0.8	
34	-10	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	13.3	85	0.8	
35	-9	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	19.6	85	0.8	
36	-8	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	16.5	85	3.1	

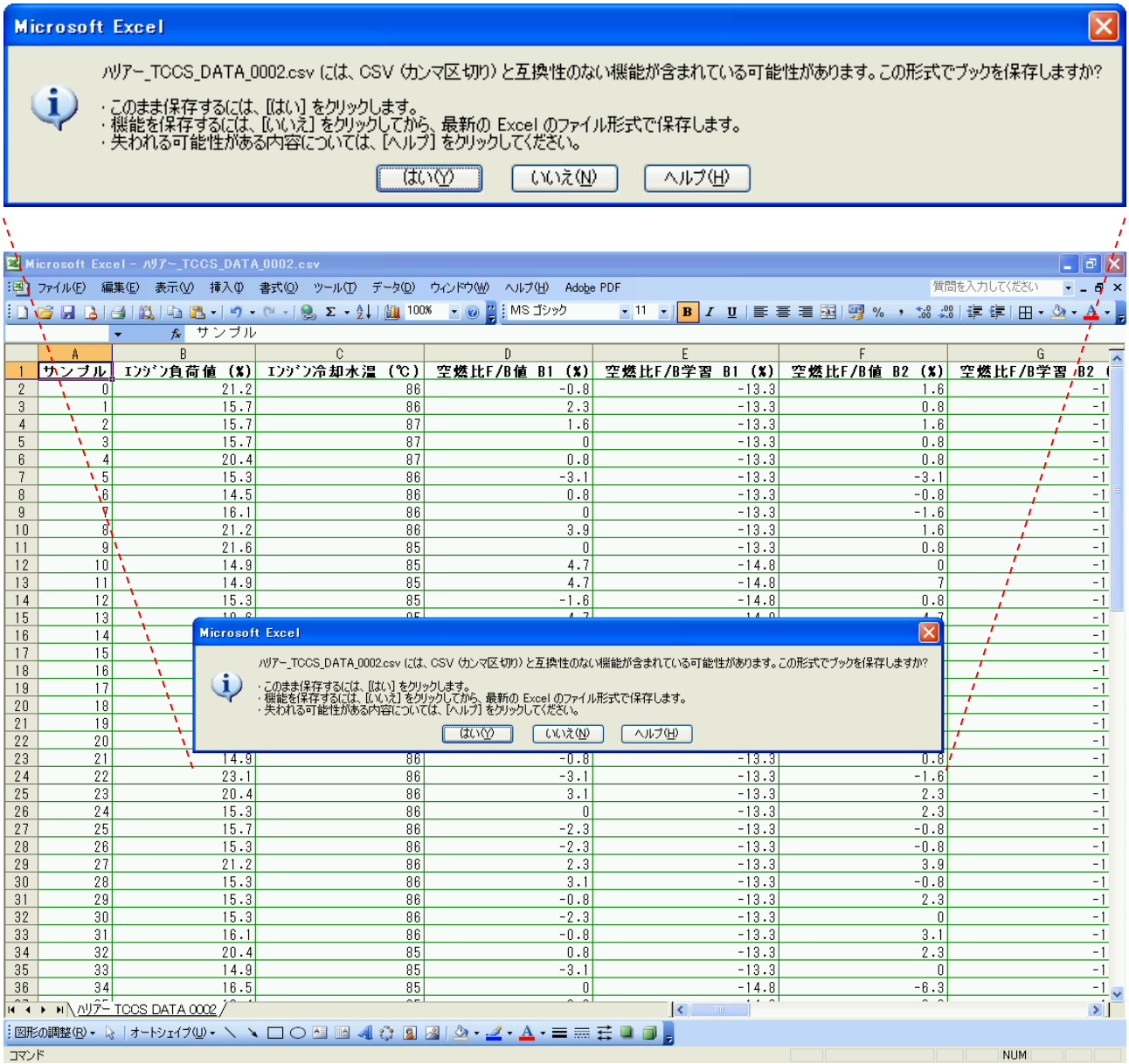
〈図：Excelで開いたCSVファイル〉

② CSVファイルを保存しようとすると以下のメッセージが表示されます。

これは、セルの書式や罫線をはじめ、文字データ以外のほとんどの設定は、CSV形式で保存すると失われるためです。

書式や罫線などの設定情報を残したまま保存する場合は、[いいえ(N)]を選択してエクセル形式で保存してください。

[はい(Y)]を選択すると設定情報は失われますがCSV形式で保存します。



〈図：保存形式の確認画面〉

■ 印刷 ボタン詳細

➢ 印刷方法

① 印刷 ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

〈図：記録データの印刷〉

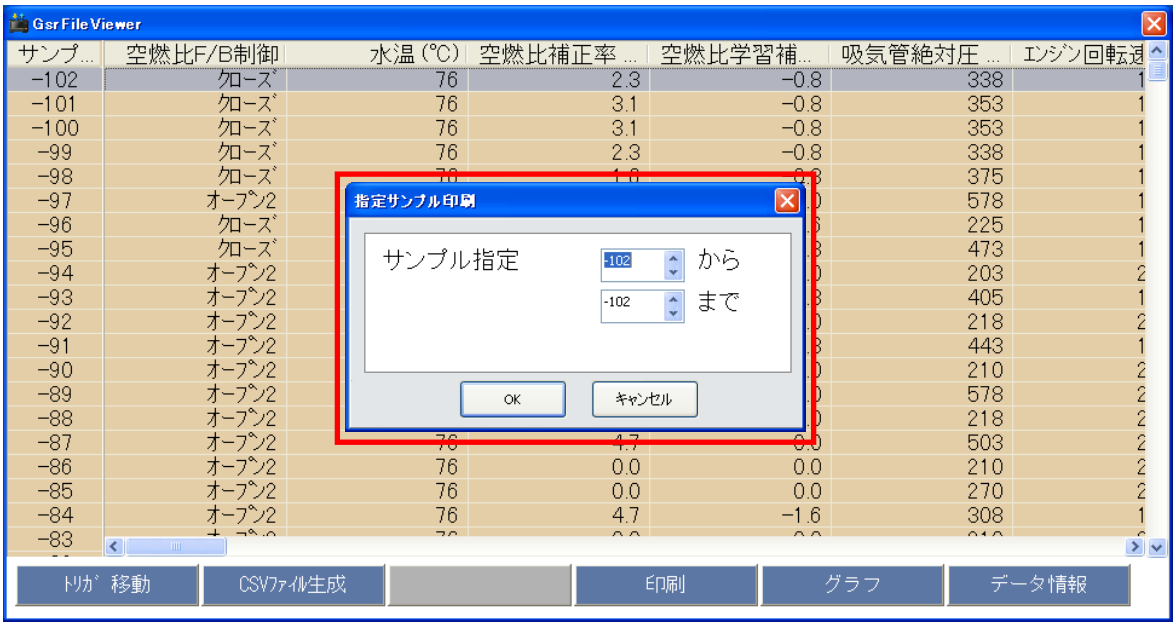
指定サンプル印刷 ： 指定したサンプル分のデータを印刷します。

全サンプル印刷 ： 全サンプルを印刷します。

② 『指定サンプル印刷』を選択するとの以下の画面が表示されます。

印刷するサンプル範囲を指定して『OK』ボタンをクリックしてください。

印刷ダイアログが表示されます。印刷設定を行い、『OK』ボタンをクリックすると印刷が開始されます。



※注意と補足※

『全サンプル印刷』を選択した場合、上記の画面は表示されません。

『全サンプル印刷』を選択後、印刷ダイアログが表示されます。印刷設定を行い、『OK』ボタンをクリックして印刷を開始してください。

➢ 印刷見本

A) 『指定サンプル印刷』を実行すると以下の印刷見本のように、1サンプル分のデータを表にしたものが印刷されます。また、複数のサンプルを指定した場合、以下の表が指定したサンプル分印刷されます。

メーカ	TOYOTA
1	ﾊﾘｱｰ
2	MCU30型系
3	1MZ-FE
4	'03.2～'05.12(H15.2～H17.12)
システム	TCCS
サンプル	-11

項目名	データ	項目名	データ	項目名	データ	項目名	データ
ﾁｪｯｸｴﾝｼﾞﾝﾗﾝﾌﾟ (--)	OFF	ｽﾛｯﾄﾙｾﾝｻ全閉状態 (--)	ON	OCVﾃﾞｭｰﾃｨ比 B1 (%)	41.85	ｼﾌﾄﾎﾟｼﾞSW D(5) (--)	OFF
F/B実施状態 B1 (--)	CL-実施中1	退避走行(ｻﾌﾞCPU) (--)	OFF	VVT目標変位角 B2 (°)	0.00	SNOWﾓｰﾄﾞSW (--)	OFF
F/B実施状態 B2 (--)	CL-実施中1	退避走行(ﾒｲﾝCPU) (--)	OFF	VVT変位角 B2 (°)	0.71	ﾏﾆｭｱﾙｼﾌﾄ ﾒｲﾝSW (--)	OFF
ｴﾝｼﾞﾝ負荷値 (%)	21.2	ｽﾛｯﾄﾙ全閉学習値 (V)	0.69	OCVﾃﾞｭｰﾃｨ比 B2 (%)	42.31	ｼﾌﾄDOWN SW (--)	OFF
ｴﾝｼﾞﾝ冷却水温 (℃)	86	ｱｸｾﾙ全閉学習値 (°)	20	噴射時間#1 (mS)	2.3	ｼﾌﾄUP SW (--)	OFF
空燃比F/B値 B1 (%)	-0.8	ｽﾛｯﾄﾙﾓｰﾀ電流 (A)	1.41	ﾊﾟﾜｽﾃSW (--)	OFF	ﾗｲﾝ圧SOL(SLT) (--)	ON
空燃比F/B学習 B1 (%)	-13.3	電ｽﾛｸﾗｯﾁ電流 (A)	0.00	ｽﾄｯﾌﾟﾗﾝﾌﾟSW (--)	OFF	ｶｳﾝﾀｷﾞｱ回転数 NC (rpm)	0
空燃比F/B値 B2 (%)	1.6	AT油温 (℃)	51	電気負荷信号 (--)	OFF		
空燃比F/B学習 B2 (%)	-11.7	ｸﾙｰｽﾞ車速 (Km/h)	0	ﾆｭｰﾄﾗﾙｽﾀｰﾄSW (--)	ON		
ｴﾝｼﾞﾝ回転数 (rpm)	655	ｸﾙｰｽﾞｾｯﾄ車速 (Km/h)	0	ｴｱｺﾝ信号 (--)	OFF		
車速 (Km/h)	0	ｸﾙｰｽﾞ要求ｽﾛ開度 (°)	0	ｱｲﾄﾞﾙSW (--)	ON		
点火時期(#1) (°CA)	12.5	ｸﾙｰｽﾞﾒｲﾝSW (--)	OFF	ｽﾀｰﾀ信号 (--)	OFF		
吸入空気温度 (℃)	38	ｸﾙｰｽﾞｲﾝｼﾞｹｰﾀ状態 (--)	OFF	低負荷時ﾌｭｰｴﾙｶｯﾄ (--)	OFF		
吸入空気量 (gm/s)	4.17	ｸﾙｰｽﾞ制御中 (--)	OFF	ｱｲﾄﾞﾙONﾌｭｰｴﾙｶｯﾄ (--)	OFF		
ｽﾛｯﾄﾙNo.1ｾﾝｻ開度 (%)	16.9	ｸﾙｰｽﾞｼﾌﾄ Dﾚﾝｼﾞ (--)	OFF	Gｾﾝｻﾌｭｰｴﾙｶｯﾄ (--)	OFF		
O2ｾﾝｻ電圧 B1S1 (V)	0.680	ｸﾙｰｽﾞﾌﾞﾚｰｷSW (--)	OFF	ﾊﾟﾜｽﾃ信号履歴 (--)	ON		
O2ｾﾝｻ電圧 B1S2 (V)	0.115	RES/ACC SW (--)	OFF	Gｾﾝｻ F/C通信状態 (--)	正常		
O2ｾﾝｻ電圧 B2S1 (V)	0.780	SET/COAST SW (--)	OFF	吸気制御VSV (--)	OFF		
O2ｾﾝｻ電圧 B2S2 (V)	0.115	ｸﾙｰｽﾞ CANSEL SW (--)	OFF	ｻｰｷｯﾄｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞﾘﾚｰ (--)	ON		
ｼｬﾀﾞｰ出力 (--)	OK	ｸﾙｰｽﾞ要求加速度 (kmh/s)	0.0	ｴｱｺﾝMgｸﾗｯﾁﾘﾚｰ (--)	OFF		
ｱｸｾﾙNo.1ｾﾝｻ電圧 (V)	0.78	ｸﾙｰｽﾞ車間距離 (m)	0	ﾊﾞｰｼﾞVSV (--)	OFF		
ｱｸｾﾙNo.2ｾﾝｻ電圧 (V)	1.59	ｸﾙｰｽﾞ操舵角 (°)	0.0	VVT制御2 (--)	ON		
ｽﾛｯﾄﾙNo.2ｾﾝｻ電圧 (V)	2.41	ｸﾙｰｽﾞ警報BZ要求 (--)	OFF	吸気制御VSV2 (--)	OFF		
ｽﾛｯﾄﾙ要求開度 (V)	0.82	ｸﾙｰｽﾞ3速ｼﾌﾄﾀﾞｳﾝ (--)	OFF	VVT制御 (--)	ON		
ｽﾛｯﾄﾙﾓｰﾀ開ﾃﾞｭｰﾃｨ (%)	0	ｸﾙｰｽﾞ O/Dｶｯﾄ (--)	OFF	ｼｬﾌﾄ回転数(NT) (rpm)	650		
ｽﾛｯﾄﾙﾓｰﾀ閉ﾃﾞｭｰﾃｨ (%)	12	ﾚｰﾀﾞｸﾙｰｽﾞｼｽﾃﾑ (--)	無	ECT変速位置 (速)	1		
ｽﾛｯﾄﾙﾓｰﾀ作動状態 (--)	ON	車間距離設定値 (--)	R/C無	ﾛｯｸｱｯﾌﾟ状態 (--)	OFF		
電ｽﾛｸﾗｯﾁ作動状態 (--)	OFF	ｸﾙｰｽﾞﾖｰﾚｰﾄ (DEG/s)	0.0	O/Dｶｯﾄﾘﾚｲﾄﾞ (--)	許可		
電ｽﾛｱｸﾁｭｴｰﾀ電源 (--)	ON	VVT目標変位角 B1 (°)	0.00	ﾀｲﾐﾝｸﾞﾘﾚｲﾄﾞ(ST) (--)	OFF		
ｱｸｾﾙｾﾝｻ全閉状態 (--)	ON	VVT変位角 B1 (°)	0.78	ｼﾌﾄﾎﾟｼﾞSW Rﾚﾝｼﾞ (--)	OFF		

〈表：「指定サンプル印刷」実行時の印刷見本〉

※注意と補足※

- 記録している項目数によっては、印刷が複数ページにおよぶ場合があります。
- 用紙サイズはA4（210mm×297mm、縦）です。
- 拡大して印刷を行う場合などは、お使いのプリンターの設定上で行っていただくか、CSVファイルを生成してから Microsoft® Excel などで加工をして印刷を行ってください。【CSVファイル生成についてはP21を参照】

B)　『全サンプル印刷』を実行すると以下の印刷見本のように、全サンプルのデータを表にしたものが印刷されます。

メーカ	TOYOTA
1	ハリアー
2	MCU30型系
3	1MZ-FE
4	'03.2～'05.12(H15.2～H17.12)
システム	TCCS

サンプル	ﾁｪｯｸｴﾝｼﾞﾝﾗﾝﾌﾟ	F/B実施状態 B1	F/B実施状態 B2	ｴﾝｼﾞﾝ負荷値 (%)	ｴﾝｼﾞﾝ冷却水温 (℃)	空燃比F/B値 B1 (%)	空燃比F/B学習 B1 (%)	空燃比F/B値 B2 (%)	空燃比F/B学習 B2 (%)	ｴﾝｼﾞﾝ回転数 (rpm)	車速 (Km/h)	点火時期(#1) (°CA)
0	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	18.8	63	-6.3	-10.9	-0.8	-10.2	737	0	15.5
1	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	18.4	63	-7.8	-11.7	-3.9	-10.9	764	0	12.5
2	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	23.9	63	-2.3	-11.7	-3.1	-10.9	759	0	11.5
3	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	20.8	63	-1.6	-10.9	-1.6	-10.2	2135	0	32.5
4	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	19.6	64	-3.1	-10.9	-0.8	-10.9	1916	0	35.5
5	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	21.2	65	-2.3	-10.9	-0.8	-10.2	2402	0	40.0
6	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	20.0	65	-3.1	-10.9	-2.3	-10.2	2433	0	40.0
7	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	24.7	66	-11.7	-11.7	-9.4	-10.9	851	0	16.5
8	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	21.2	67	-4.7	-10.9	-3.9	-10.2	687	0	15.0
9	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	20.8	68	-2.3	-10.9	-3.1	-10.2	687	0	15.0
10	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	20.8	68	-3.9	-10.9	-1.6	-10.2	682	0	15.0
11	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	20.4	69	-2.3	-10.9	-1.6	-10.2	689	0	15.0
12	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	25.5	70	-3.9	-8.6	-3.9	-7.8	703	0	12.0
13	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	20.4	70	-3.1	-10.2	-1.6	-10.2	662	0	15.0
14	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	20.8	70	-1.6	-10.9	-1.6	-10.2	691	0	15.5
15	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	18.0	70	-1.6	-11.7	-3.1	-10.2	725	0	15.5
16	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	18.4	71	-3.1	-12.5	-3.1	-11.7	708	0	16.5
17	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	22.4	71	-0.8	-12.5	-2.3	-11.7	692	0	12.0
18	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	18.0	71	-0.8	-13.3	-1.6	-11.7	685	0	15.0
19	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	16.5	71	-3.9	-13.3	-5.5	-11.7	813	0	12.5
20	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	19.6	71	0.0	-12.5	0.0	-10.9	1821	0	35.0
21	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	20.4	72	2.3	-13.3	4.7	-12.5	1551	0	28.5
22	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	23.1	72	3.1	-14.8	0.0	-14.1	1321	0	30.0
23	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	18.4	73	-3.9	-14.8	1.6	-13.3	1541	0	33.5
24	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	21.2	74	-4.7	-12.5	-3.9	-11.7	2141	0	37.0
25	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	19.2	75	0.0	-14.1	0.8	-13.3	2146	0	37.5
26	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	22.4	75	0.8	-12.5	-3.9	-9.4	2558	0	37.5
27	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	22.0	76	0.0	-12.5	0.8	-12.5	2725	0	38.0
28	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	20.4	77	-3.9	-14.8	-4.7	-14.1	1934	0	33.5
29	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	18.4	78	1.6	-14.8	2.3	-14.1	1596	0	33.0
30	OFF	CL-実施中1	CL-実施中1	18.0	79	-3.9	-14.8	2.3	-14.1	1602	0	33.5

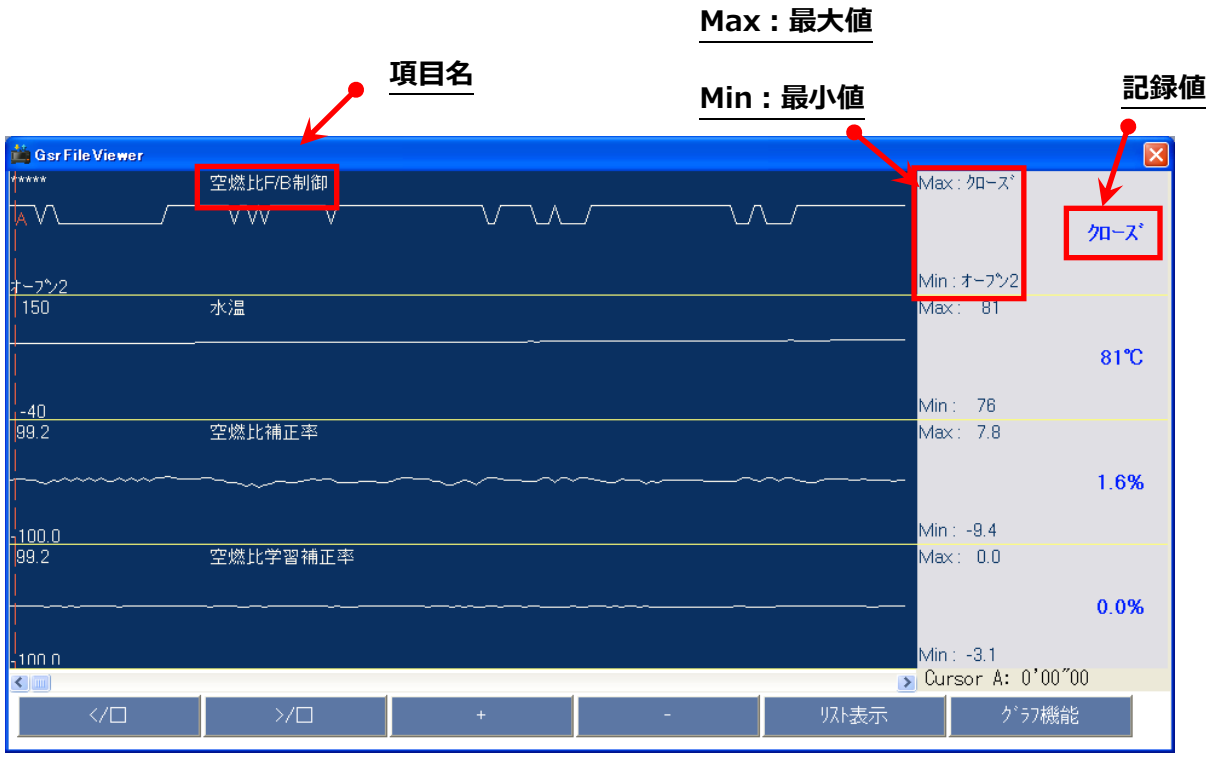
〈表：「全サンプル印刷」実行時の印刷見本〉

※注意と補足※

- 記録している項目数やサンプル数によっては、印刷が複数ページにおよぶ場合があります。
- 用紙サイズはA4（210mm×297mm、縦）です。
- 拡大して印刷を行う場合などは、お使いのプリンターの設定上で行っていただくか、CSVファイルを生成してから Microsoft® Excel などで加工をして印刷を行ってください。
  【CSVファイル生成についてはP21を参照】

■ グラフ ボタン詳細

① グラフ ボタンをクリックすると数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。



〈図：記録データのグラフ表示〉

項目名 ： 項目名が表示されます。

記録値 ： カーソルA上の値が表示されます。

最大値/最小値： 最大値、最小値が表示されます。

</□ グラフを左に送ります。

>/□ グラフを右に送ります。

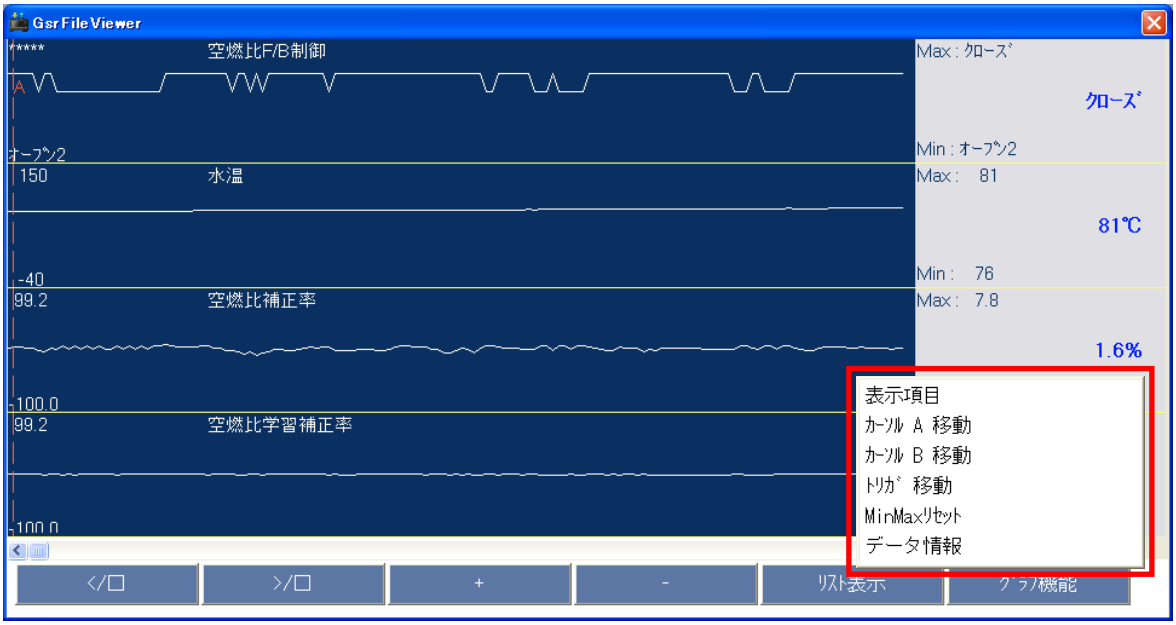
+ グラフを拡大します。

- グラフを縮小します。

リスト表示 数値表示に戻ります。

グラフ機能 グラフ機能を使用します。【詳細はP29 ②を参照】

② グラフ機能 ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



〈図：グラフ機能の詳細〉

表示項目 ： 表示する項目を選択します。【詳細はP30 ③を参照】

カーソルA移動 ： コントロールをカーソルAに移動します。【詳細はP30 ④を参照】

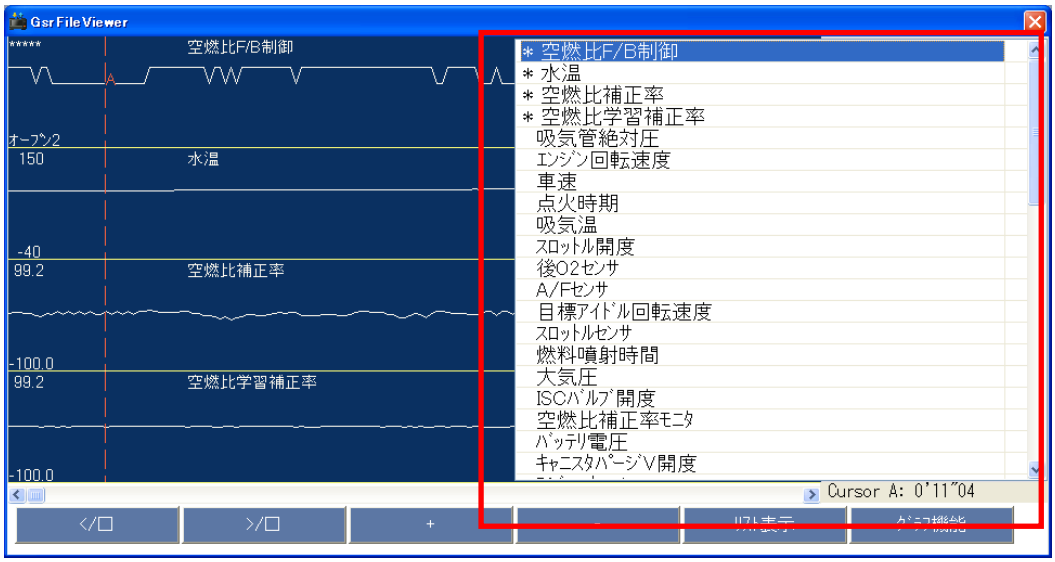
カーソルB移動 ： コントロールをカーソルBに移動します。【詳細はP31 ⑤を参照】

トリガ移動 ： カーソルAをトリガ位置（0サンプル位置）に移動します。

MinMaxリセット ： 最大値、最小値をリセットします。

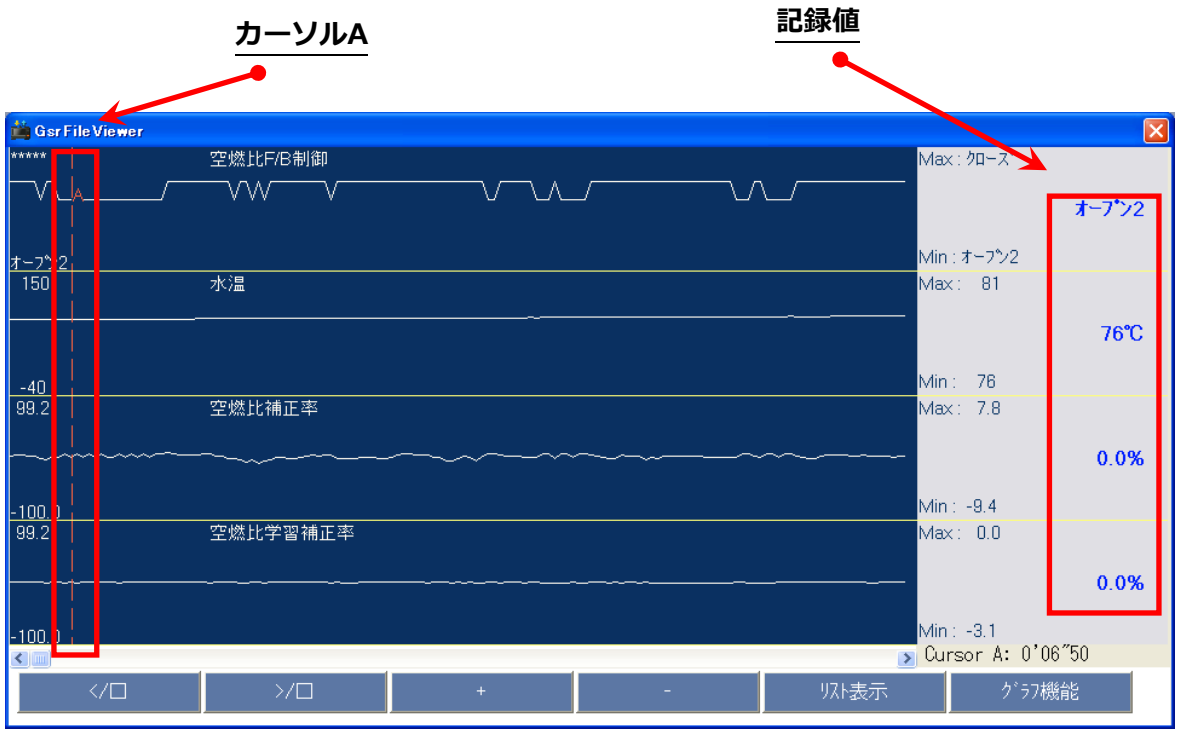
データ情報 ： 保存したデータ情報を表示します。【詳細はP32を参照】

③　『表示項目』を選択すると以下の画面が表示されます。項目名をタッチしてください。グラフに表示する項目が選択されます。なお、選択できる項目は最大で4項目です。選択を終了する場合は『表示項目』を再度クリックしてください。



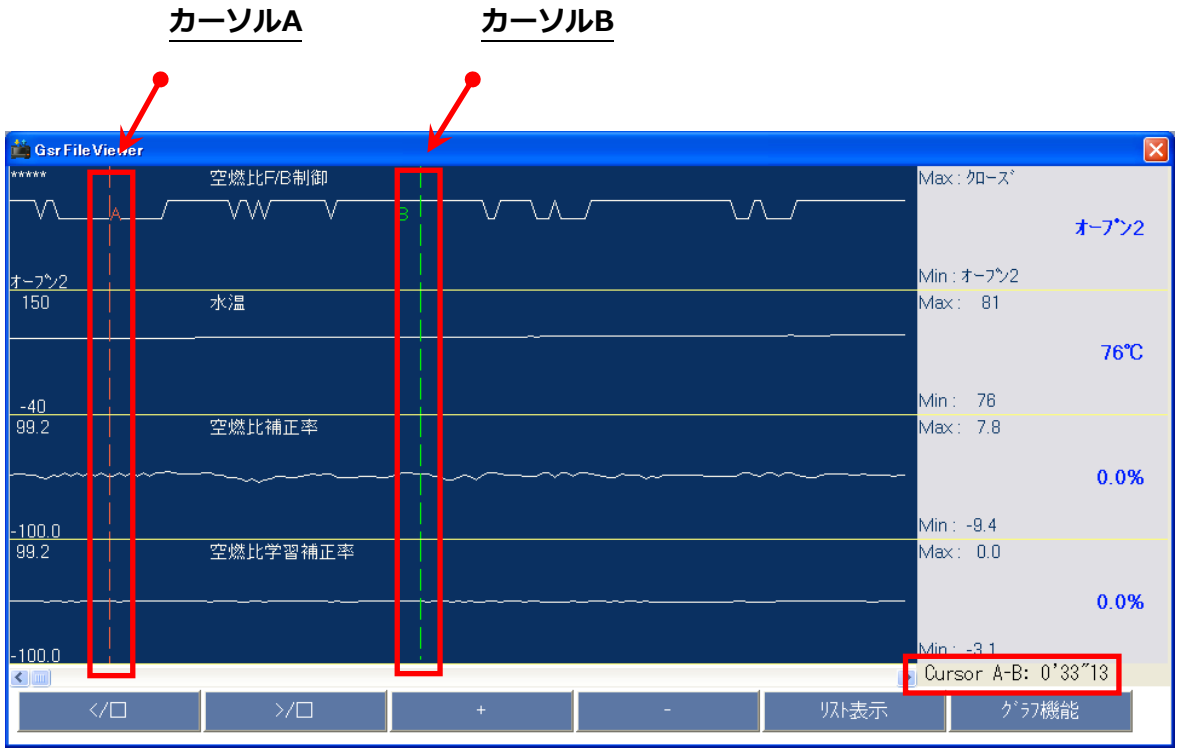
〈図：表示項目の選択〉

④　『カーソルA移動』を選択するとカーソルAにコントロールが移ります。
マウスでグラフをクリックしてカーソルAの位置を移動させてください。カーソルA上にある値が記録値に表示されます。



〈図：カーソルAの移動〉

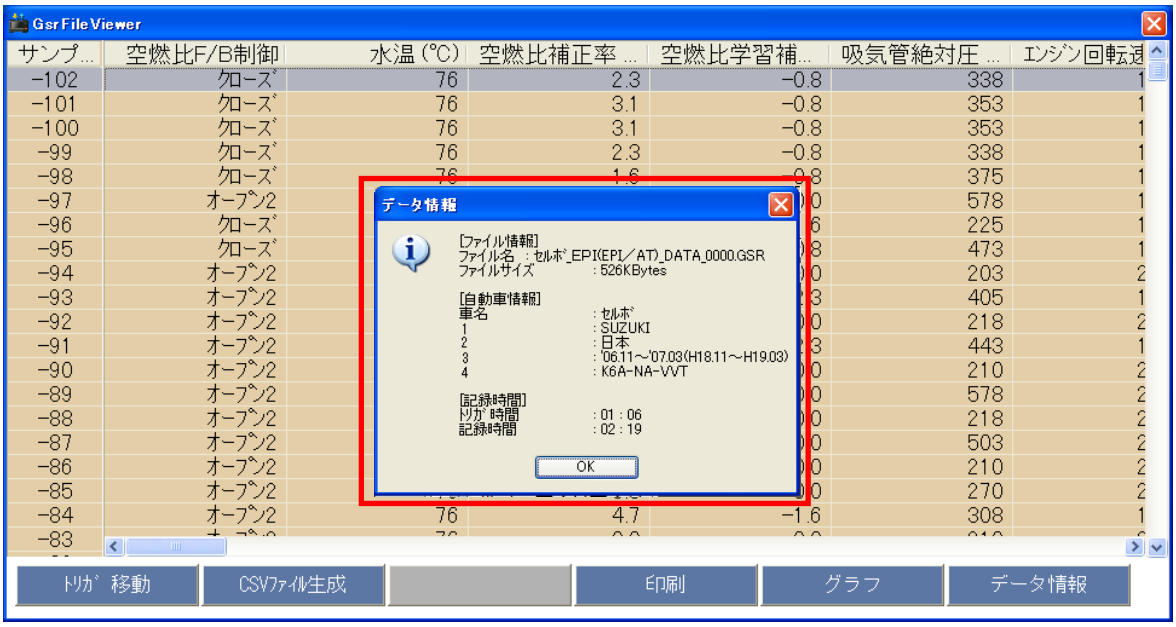
⑤　『カーソルB移動』を選択するとカーソルBにコントロールが移ります。
マウスでグラフをクリックしてカーソルBの位置を移動させてください。画面右下にカーソルAからカーソルBまでの時間が表示されます。



〈図：カーソルBの移動〉

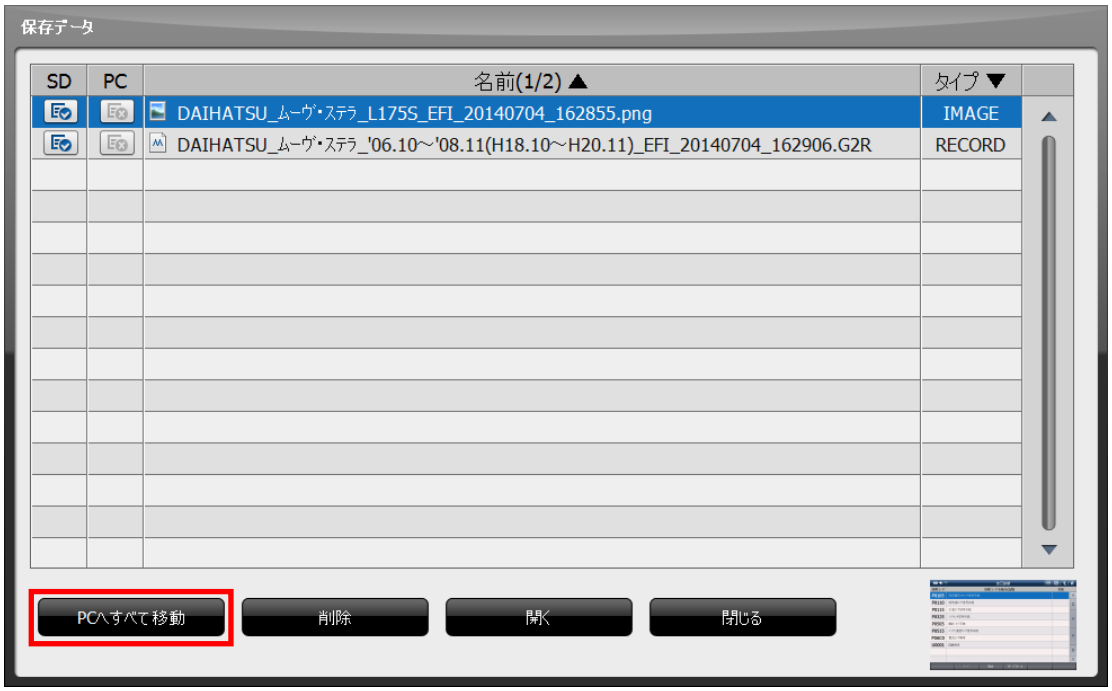
■ データ情報 ボタン詳細

① データ情報 ボタンをクリックするとデータ情報画面が表示されます。データ情報画面では現在表示している保存データの詳細を表示します。



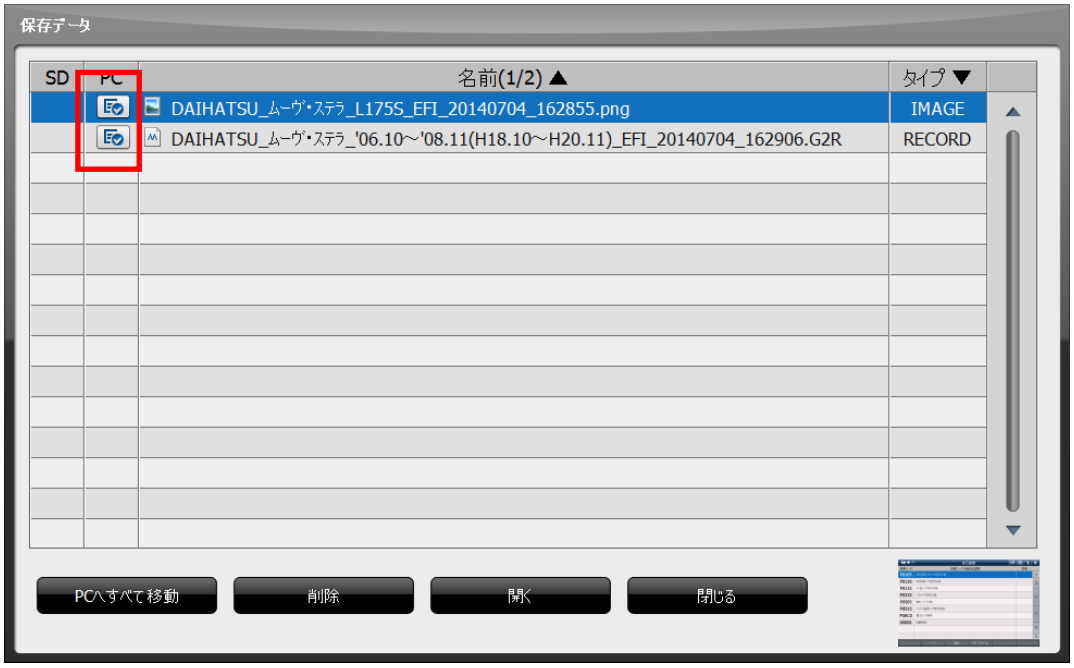
〈図：データ情報画面〉

1) SDカードからPCへフォルダ、ファイルをコピーする場合は、SDカードのフォルダ、またはファイルを選択して PCへすべて移動 ボタンをクリックしてください。



〈図：SDカード→PCへの保存〉

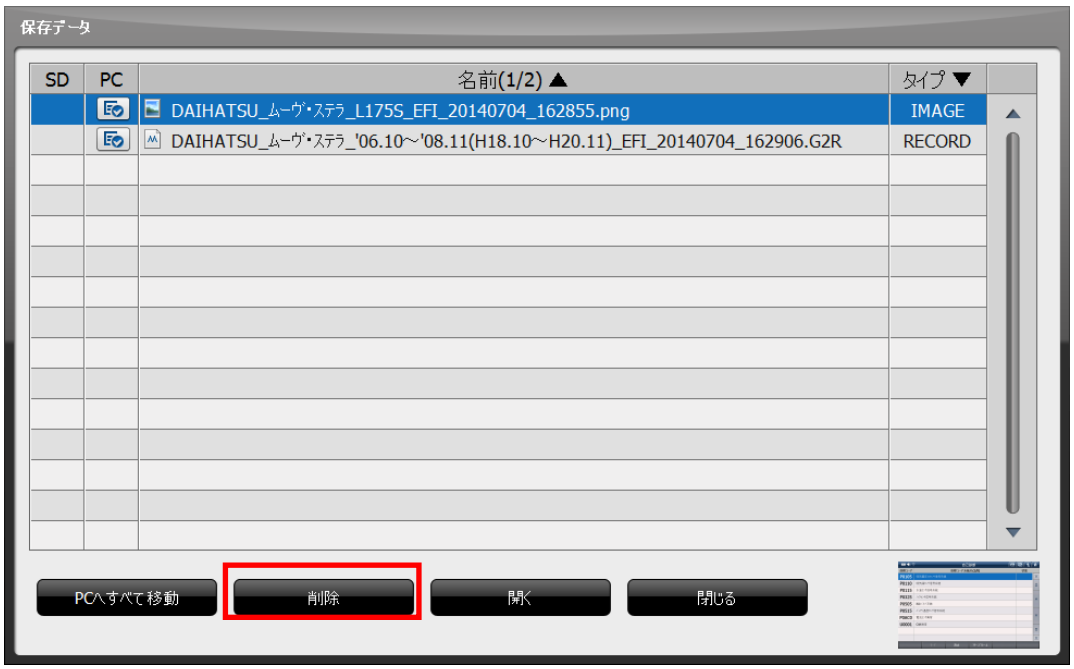
2)　PCに選択したフォルダ、ファイルが保存されます。



〈図：SDカード→PCへの保存完了〉

3)　フォルダ、ファイルを削除する場合は、削除するフォルダ、またはファイルを選択して

ボタンをクリックしてください。



〈図：フォルダ、ファイルの削除〉

G-SCAN ソフトウェアアップデート

PCユーティリティー

ソフトウェアオンラインアップデートでは、アップデートサーバーより最新のソフトウェアをダウンロードし、SDカードの診断ソフトウェアを更新します。

1） まず、G-scan内のSDカードをパソコンに接続してください。

G-scan本体の電源がOFFの状態で、SDカードを取り出します。

SDカードをSDカードリーダに挿し込み、パソコンに接続します。

2） PCユーティリティーメイン画面の『ソフトウェアオンラインアップデート』をクリックしてください。

〈図：ソフトウェアオンラインアップデートの選択〉

3） 以下の画面が表示されます。シリアルNo、ID、パスワードを入力して OK ボタンをクリックしてください。バージョン確認画面が表示されたら アップデート ボタンを押してください。

※ID、パスワードは購入時にユーザー登録したID、パスワードを入力してください。

※環境設定をお済の方はパスワードのみの入力となります。

〈図：シリアルNo、ID、パスワードの入力〉

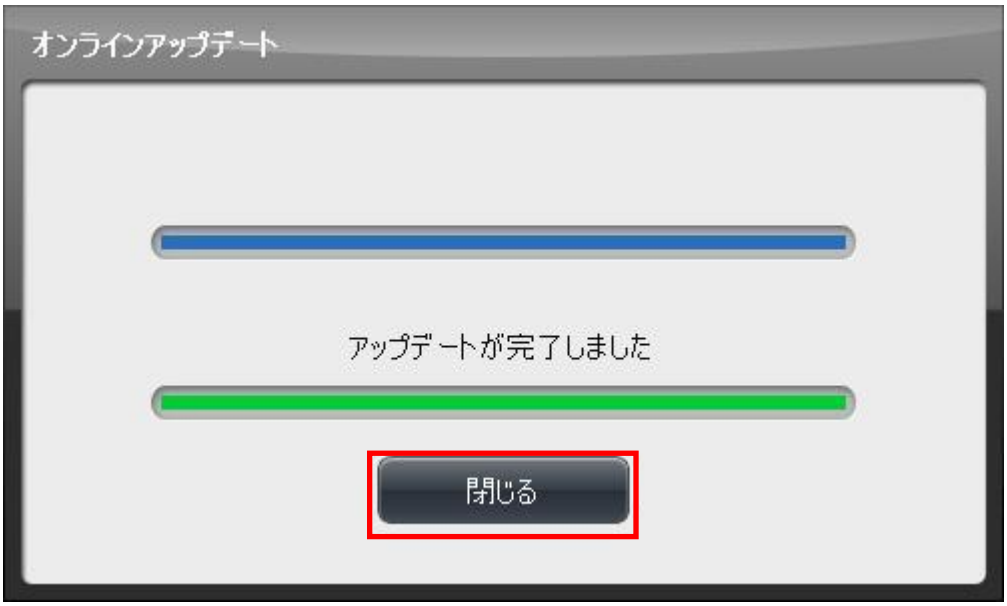
〈図：バージョン確認画面〉

4）以下の画面が表示され、ソフトウェアアップデートが開始されます。

※アップデート中にキャンセルをした場合、最初からやり直してください。

〈図：ソフトウェアアップデート開始〉

5）ソフトウェアアップデートが完了すると以下の画面が表示されます。『OK』ボタンをクリックしてソフトウェアアップデートを終了してください。なお、ソフトウェアアップデート完了後はSDカードをG-scanに挿し込み、動作確認を行ってください。



〈図：ソフトウェアアップデート完了〉

6）ソフトウェアアップデート完了後、バージョン確認画面でダウンロードが完了していることを確認してください。

〈図：バージョン確認画面〉

※注意と補足※

この画像は有効期限の有無により異なります。

オフラインアップデート

ソフトウェアオフラインアップデートでは、パソコンに保存されているソフトウェアを利用してSDカード内の診断ソフトウェアを更新します。

※一度オンラインアップデートを実行しておく必要があります。

1） まず、G-scan内のSDカードをパソコンに接続してください。

G-scan本体の電源がOFFの状態で、SDカードを取り出します

SDカードをSDカードリーダに挿し込み、パソコンに接続します。

2） PCユーティリティーメイン画面で『ソフトウェアオフラインアップデート』をクリックしてください。

〈図：オフラインアップデート画面〉

3） ユーザー認証画面でシリアルNO.を入力して OK をクリックしてください。

〈図：ユーザー認証画面〉

4） 以下の画面が表示されパソコン内とSDカード内に保存されている診断ソフトウェアのバージョンを確認します。アップデートバージョン確認画面が表示されたら アップデート ボタンを押してください。

〈図：バージョン確認画面〉

5）以下の画面が表示され、ソフトウェアアップデートが開始されます。

※アップデート中にキャンセルをした場合、最初からやり直してください。

〈図：ソフトウェアアップデート開始〉

6）ソフトウェアアップデートが完了すると以下の画面が表示されます。『OK』ボタンをクリックしてソフトウェアアップデートを終了してください。なお、ソフトウェアアップデート完了後はSDカードをG-scanに挿し込み、動作確認を行ってください。

〈図：ソフトウェアアップデート完了〉

7）ソフトウェアアップデート完了後、バージョン確認画面でダウンロードが完了していることを確認してください。

〈図：バージョン確認画面〉

※注意と補足※

この画像は有効期限の有無により異なります。

G-scan2のスマートアップデート機能については、G-scan2本体の取扱説明書に記載されていますので、そちらをご覧ください。

G-SCAN　ネットワークプリント設定

PCユーティリティー

G-scan2ではW-Fi(無線LAN)を利用してパソコンに接続されたプリンターから、キャプチャーした画面を印刷することができます。
ネットワークプリント機能を利用するには、G-scanとお使いのパソコンが同一ネットワーク上にある必要があります。下記の設定が必要になります。

〈図：接続の例〉

接続するもの	
1)	G-scan2とアクセスポイント
2)	アクセスポイントとパソコン
3)	パソコンとプリンター

ネットワークプリント機能を利用するための準備を説明します。

利用するための準備

① G-scan2とアクセスポイントを接続します。

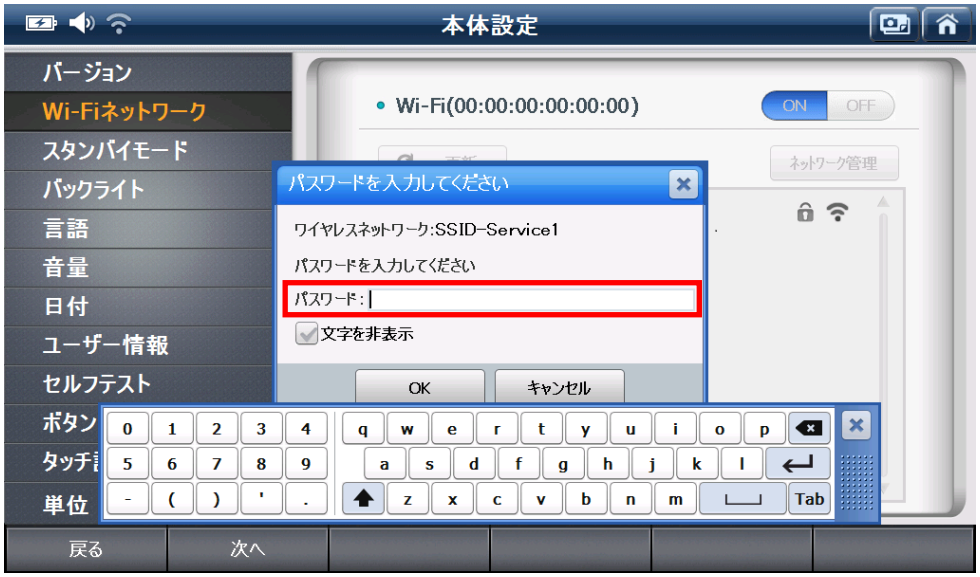
1) G-scan2の本体設定を開き、Wi-Fiネットワークを選択します。
Wi-Fiが[ON]になっていることを確認してください。

〈図：本体設定　Wi-Fiネットワークを選択〉

2) 接続したいアクセスポイントを表示されたSSIDの一覧から選択します。
SSIDとは、アクセスポイントに割り当てられた識別名のことです。

〈図：Wi-Fiネットワーク　SSIDの一覧（アクセスポイント）〉

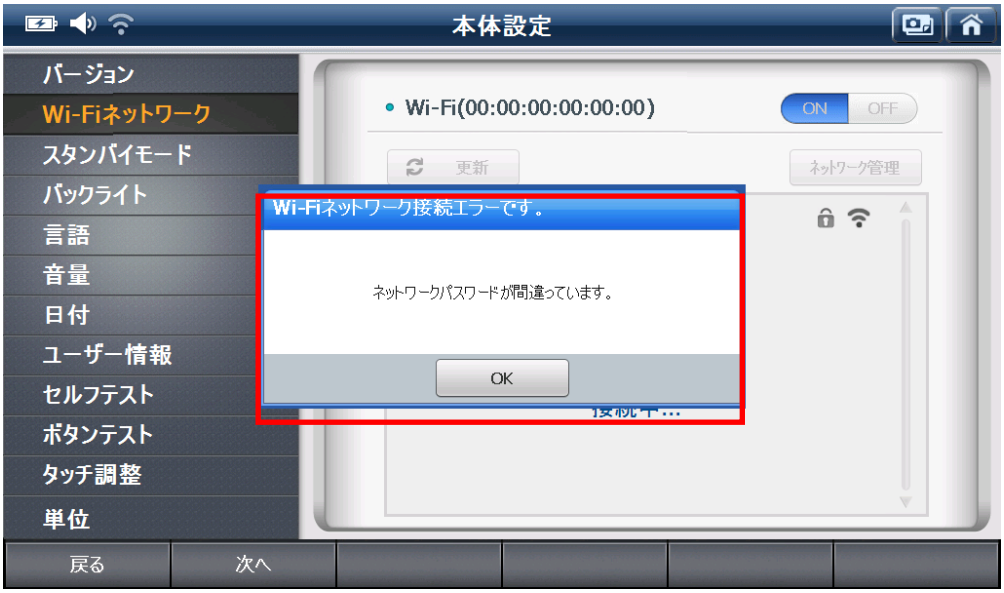
3)　アクセスポイントにセキュリティーが設定されているときは、パスワードの入力を求められます。
キーパッドからパスワードを入力してください。



〈図：Wi-Fiネットワーク　パスワードの入力〉

※注意と補足※

誤ったパスワードを入力すると、ネットワークに接続することができません。以下の表示が出るときはパスワードをもう一度確認して入力してください。



〈図：Wi-Fiネットワーク　誤ったパスワードを入力したとき〉

4)　アクセスポイントに接続すると、SSIDの横に「接続済み」と表示されます。

〈図：Wi-Fiネットワーク　接続済みの表示〉

※注意と補足※

SSIDの一覧には、G-scan2で対応していない暗号化方式のアクセスポイントも表示されます。対応していない暗号化方式を使用したアクセスポイントへ接続すると、「接続済み」と表示されることがありますが、実際には接続されていませんのでご注意ください。正常に接続できていないときは、「接続済み」の画面でしばらく待っているとエラーメッセージが表示されます。

5)　以上でG-scan2とアクセスポイントの接続は完了です。

※注意と補足※

お使いのアクセスポイントによって、Wi-Fi の端末（G-scan2）と、有線 LAN の端末（パソコン）を通信させない設定が有効になっている機器があります。この設定が有効になっていると、G-scan2 がお使いのパソコンを検索することができません。Wi-Fi の端末と有線 LAN の端末を、互いに通信させる設定へ変更することで、G-scan2 とパソコンが通信できるようになります。ただしこの設定はネットワークのセキュリティーに関係しますので、機能をきちんと理解したうえで変更してください。

② アクセスポイントとパソコンを接続します。

詳しい手順はお手持ちのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

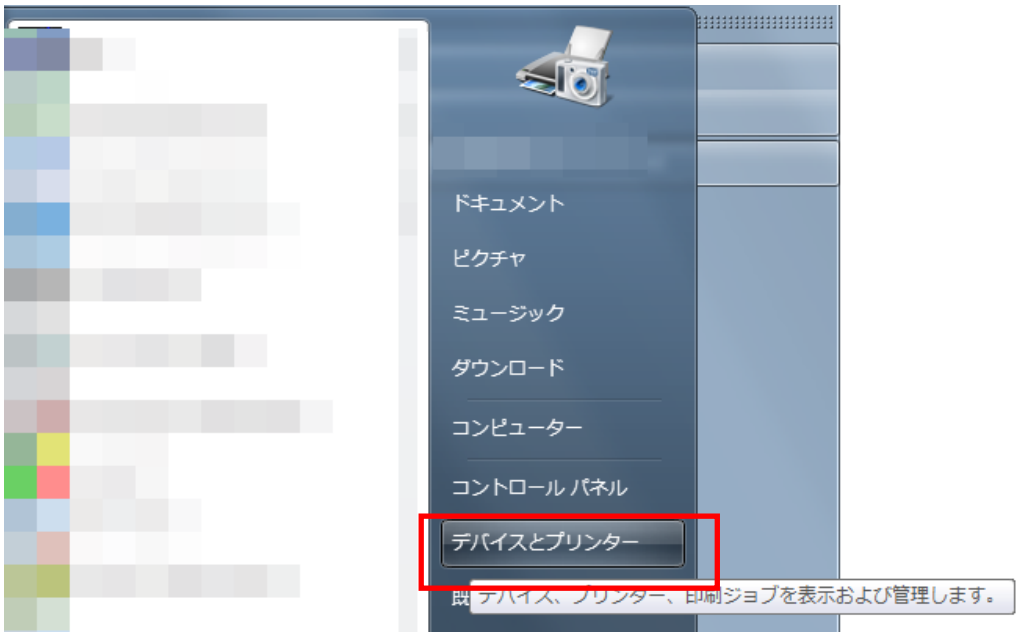
③ パソコンとプリンターを接続します。

1) お手持ちのプリンターをパソコンにインストールします。詳しい手順はお手持ちのプリンターの取扱説明書をご覧ください。

2) お使いになるパソコンへPCユーティリティーをインストールしてください。

3) G-scan2から印刷するときに使用するプリンターを選択します。

デバイスとプリンターを開きます。



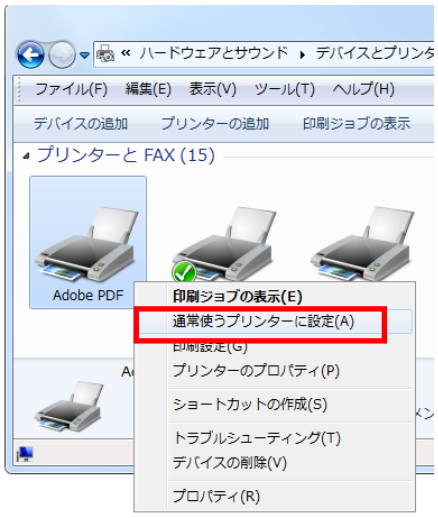
〈図：スタートボタンを押したあとの画面〉

※注意と補足※

ネットワークプリントはパソコンの既定のプリンター（通常使うプリンター）を使用します。使用するプリンターが既定のプリンターに設定されていないときは、下記の手順で設定を変更してください。既定のプリンターとは、パソコンに複数登録されたプリンターのうち、プリンターの指定がないときに印刷されるプリンターです。1つしか登録されていないときは、そのプリンターが既定のプリンターとなります。

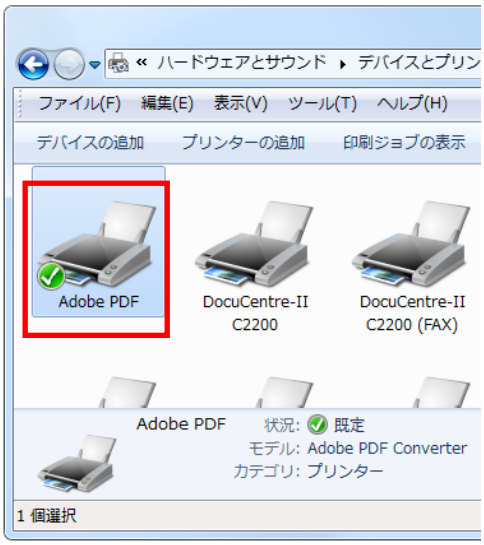
この例では、既定のプリンターを「DocuCenter-II C2200」から、「Adobe　PDF」へ変更します。
左下図にある緑色のマークが既定のプリンターであることを示します。
「Adobe PDF」のプリンターを右クリックすると、「通常使うプリンターに設定(A)」と表示されますので、クリックします。お使いのWindowsのバージョンにより、「通常使うプリンターに設定(A)」という名称が異なることがあります。

〈図：表示されたプリンターの一覧〉



〈図：Adobe PDFを右クリックしたとき〉

右上図の「通常使うプリンターに設定(A)」をクリックすると、緑色のマークが「Adobe PDF」へ変更され、既定のプリンターが「Adobe PDF」になりました。



〈図：Adobe PDFが既定のプリンターになったところ〉

以上でG-scan2のネットワークプリント機能を利用する準備が整いました。

※注意と補足※

ネットワークプリント機能は、パソコンに接続されたプリンターのみ利用できます。パソコン上にインストールしたPCユーティリティーが、G-scan2からの印刷の情報を受信します。そのためネットワークプリンターなど独立したプリンターに対して直接印刷することはできません。

G-scan2から印刷する

G-scan2からネットワークプリント機能を利用します。

1) 保存データから、印刷したいイメージを表示します。画面右上にある、ネットワークプリントボタンを押します。

〈図：保存データ　キャプチャーした画面を表示したところ〉

※注意と補足※

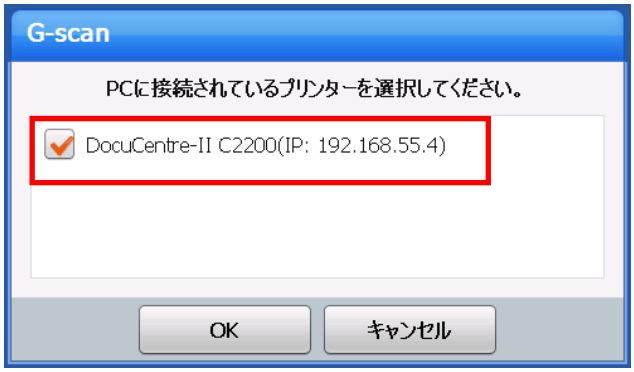
スクリーンキャプチャーをとった直後にも、ペイントメモのアイコンの右側にネットワークプリントボタンが表示されます。こちらからも、ネットワークプリント機能が利用できます。

2) 保存データから印刷したいイメージを表示します。画面右上にある、ネットワークプリントボタンをしてください。

〈図：プリンタ検索中の画面〉

3) パソコンと通信が成功すると、パソコンの既定のプリンターが表示されます。下図では

「DocuCenter-II C2200」がパソコン上の既定のプリンターとなっています。



〈図：G-scan2が接続プリンター〉

4)　[OK]を押すと、表示されたプリンターで印刷します。

※注意と補足※

以下の画面が表示されるときは、「利用するための準備」の①～③のうち、いずれかが正常に接続されていません。

パソコンにインストールされたファイアウォールが、G-scan2の通信をブロックしている可能性があるときは、ファイアウォールに以下のプログラムをブロックの対象外として設定してください。

“C:¥pcutil¥BIN¥Gsan2PcUtility_NetworkPrinter.exe”

5)　印刷が完了すると、下の画面に変わります。[OK]を押すと終了します。

〈図：ネットワークプリントに成功した画面〉

※注意と補足※

ネットワークプリント機能では、既定のプリンターへ1枚の画像を送信します。印刷の設定は既定のプリンターに従いますので、プリンターの標準設定がA4・モノクロになっていれば、ネットワークプリント機能で印刷すると、画像はA4サイズのモノクロで出力されます。

設定を変更する

ネットワークプリント機能では直接プリンターから印刷する以外にも、PCユーティリティーのイメージビューアを起動させることもできます。

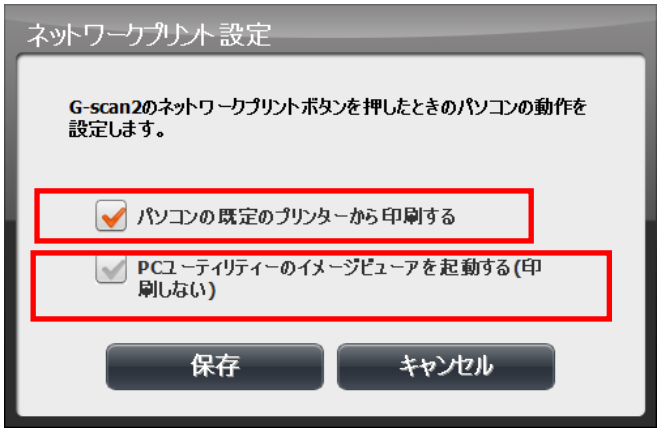
1) 「ネットワークプリント設定（G-scan2のみ）」をクリックしてください。

〈図：PCユーティリティーのメニュー画面〉

※注意と補足※

画面上に「ネットワークプリント設定」のアイコンが表示されない場合、まずG-scan2のソフトウェアオンラインアップデートを実行し、一度PCユーティリティーを閉じてください。その後再度PCユーティリティーを起動するとアイコンが表示されます。

2) ネットワークプリントの設定を変更します。



①

②

〈図：ネットワークプリント設定画面〉

① **「パソコンの既定のプリンターから印刷する」**

パソコンに接続されたプリンターから印刷します。通常はこの設定になっています。

② **「PCユーティリティーのイメージビューアを起動する（印刷しない）」**

G-scan2で印刷したときにプリンターから印刷せず、PCユーティリティーのイメージビューアを起動し、パソコンの画面上に表示します。印刷するときはイメージビューア上の「印刷」ボタンを押してください。この印刷は既定のプリンター以外のプリンターを指定することができます。

①と②のいずれか一方を選ぶことができます。2つ同時に選択することはできません。

分析データ

PCユーティリティー

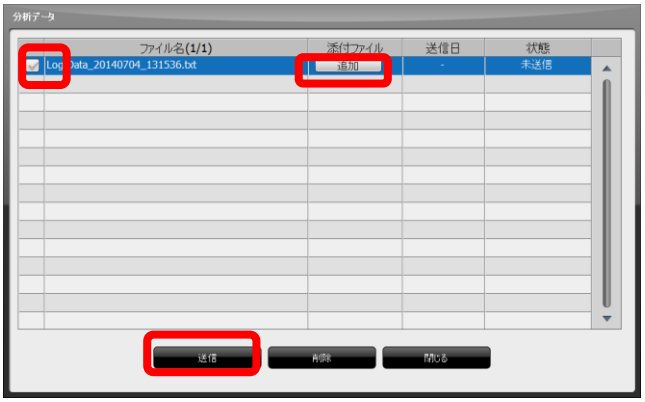
分析データを弊社開発部に送信する機能です。
本体と車両の通信ができない・診断内容に不備があるなど、G-scan2側の不具合が疑われる場合、分析モードにて通信情報を記録してご送信ください。その情報をもとにデータの分析を行い、お客様にご回答いたします。

※分析データの送信は本体からも可能です。その場合は Wi-Fi 接続が必要になります。
(分析データの記録および送信方法は G-scan/G-scan2 取扱説明書(本体編)を参照してください。)

1) 分析データの送信

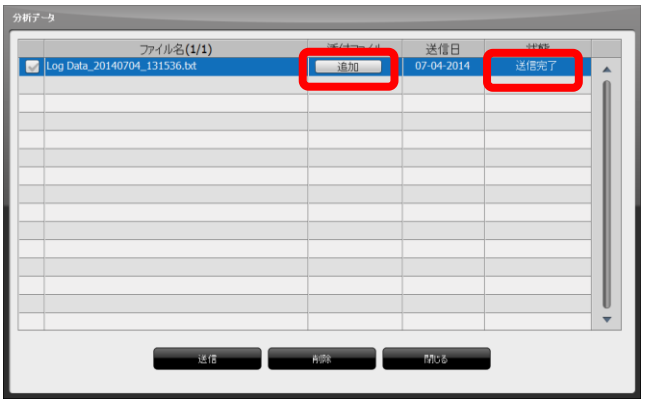
①PC Utility を起動させます。
SD カードを挿入して、[分析データ]ボタンを押してください。

②分析データ一覧が表示されます。
送信したいデータの左側にある □ 部分にチェックマークを付け、[送信]ボタンを押してください。
※画像データを添付するには[追加]ボタンを押してください。



③メモとお客様の E-mail アドレスを入力してください。
[OK]ボタンを押すと送信が開始されます。
※空欄があると[OK]ボタンを選択することができません。

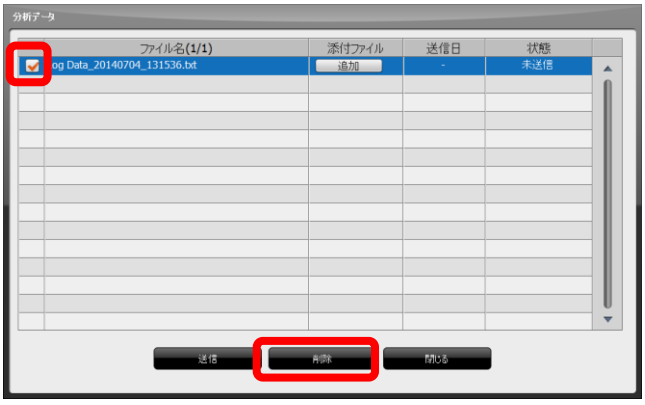
④「状態」が送信完了となっていること、また「送信日」にデータ送信日が表示されていることを確認してください。
※弊社にて分析データの確認ができ次第、ご入力いただいた E-mail アドレスにご返信いたします。
※E-mail アドレスの入力に誤りがあった場合、回答ができない場合がございますのでご注意ください。



2) 分析データの削除

①PC Utility を起動させます。
SD カードを挿入して、[分析データ]ボタンを押してください。

②削除したい項目の □ 部分にチェックマークを付け、[削除]ボタンを押してください。



③[OK]ボタンをクリックすると削除完了です。

株式会社　インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel　029-248-0616　　Fax 029-248-1609

http://www.g-scan.jp

製品保守センター

（製品のご相談・ご質問はこちら）

Tel 029-304-0185

受付時間：　10:00～17:00

受付日：　月曜日から金曜日

(弊社休業日および祝祭日を除く）

2014年8月発行　第4版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。G1PZFDN001-30-4